

首里城がつなく 「過去」から「未来」へ・・・

首里城復興レポート Vol.10
(R5年度まとめ版)

目次

- 首里城復元に向けた取組状況・・・・・・・・・・ 2
- 県の首里城復興に向けた取組状況・・・・・・・・ 18
- 首里城復興に係る寄附金の状況・・・・・・・・ 37
- これまでの県・国の動向・・・・・・・・・・・・ 58



公式ホームページ



公式X(旧Twitter)

首里城復元に向けた取組状況

- 令和元年10月31日の火災以降、首里城正殿等の復元に向けて、破損瓦等の撤去や焼失した建物の解体等を進めるとともに、首里城正殿遺構等の一般公開を実施。
- 一般公開をはじめとする「段階的公開」、正殿を皮切りとした「首里城復元」、それらの実施を通じた「地域振興・観光振興への貢献」に取り組んでいる。

首里城復元に向けた「3本柱」

段階的公開

首里城復元に向けて進む破損瓦等の撤去や躯体の解体、復元工事の様子を、安全性を確保しながら一般公開を進める。



素屋根見学エリア

首里城復元

令和8年の首里城正殿の完成に向けて、関係機関と密に連携を図りながら、首里城復元に向けた技術検討委員会での検討を進める。



令和元年度 第3回技術検討委員会

地域振興・観光振興への貢献

首里城の段階的公開、首里城復元に向けたボランティア活動や公園イベントの開催を通して、沖縄の地域振興・観光振興への貢献に努めていく。



うるし塗り原料“ニービの粉”製作ボランティア

首里城ドローン写真（令和元年11月1日時点）



令和元年10月31日未明に発生した火災により、9棟の建物が被災（全焼：7棟、一部焼失：2棟）。



正殿復元に向けた仮設施設の整備(CGイメージ)

2021年10月完成

2022年9月完成

2033年8月完成

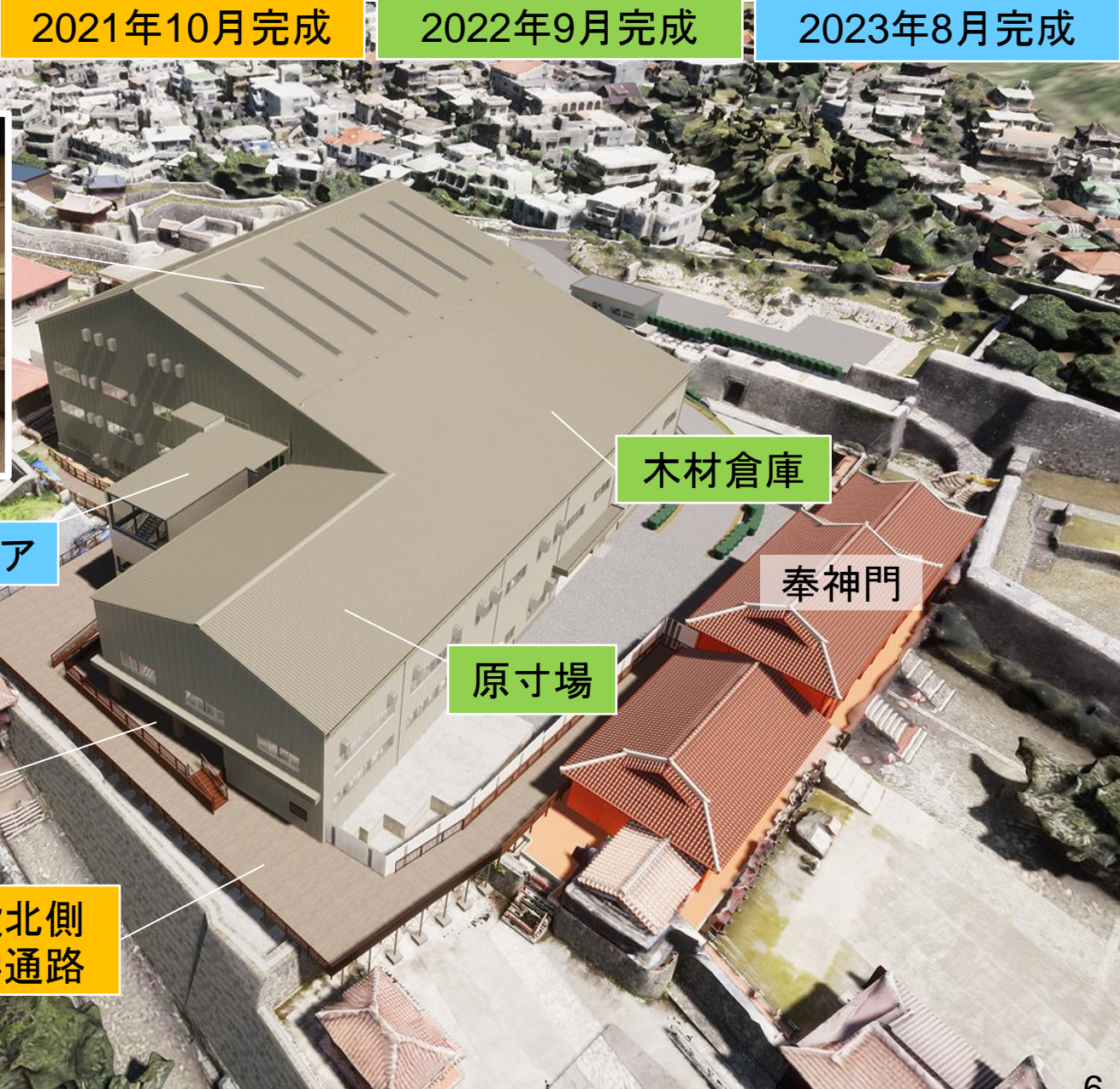


素屋根

素屋根 見学エリア

原寸場 見学エリア

北殿北側
見学通路



木材倉庫

奉神門

原寸場

首里城正殿等の復元に向けた工程表

		(年度)									
		R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9 以降	
正殿	材料調査 (大径材)		市場調査								
	設計		基本設計	実施設計							
	材料調達 (大径材)			調達・乾燥							
	工事	仮設道路 がれき撤去		木材倉庫	発注手続(WTO)		本体工事				
北殿、南殿等			撤去 正殿復元の施工ヤードとして使用								
			検討	-----	-----	-----	-----	-----	-----	工事	

2023

令和5年度

- 素屋根、見学棟（階段・EV）の整備
- 正殿基礎工事
- 木材加工、軸組建方工事



令和5年度の主な取り組み

- 首里城正殿の軸組建方工事を前に、8月26日(土)に正殿の復元作業が間近で見られる「素屋根見学エリア」の公開を開始。
- 令和5年9月4日(月)から始まった「軸組建方工事」は、同年12月25日(月)の小屋組みの棟木設置を最後に完了。
- こうした機会を捉え、9月9日(土)・10日(日)、一般来園者向けに普段は入れない素屋根内の見学や宮大工体験等の「特別公開イベント」を行い、約3,000人が参加。

【素屋根見学エリア】



2階入り口・右が木材倉庫

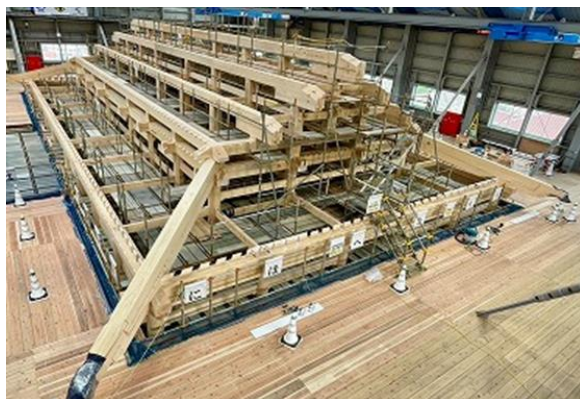


1階ガラス越しに工事の様子を見学する来園者

【軸組建方工事】



正殿の柱を吊る作業



軸組建方工事完了

【特別公開イベント】



間近で組みあがる正殿の柱(2階)



宮大工体験(やりかん)

今後の工事スケジュール(予定)

2023

令和5年度

2024

令和6年度

○素屋根、見学棟（階段・EV）
の整備

○正殿基礎工事

○木材加工、軸組建方工事

○木材の造作工事、木彫刻の
取り付け

○屋根瓦葺き開始

○塗装工事開始



今後の工事スケジュール(予定)

2023

令和5年度

- 素屋根、見学棟（階段・EV）の整備
- 正殿基礎工事
- 木材加工、軸組建方工事

2024

令和6年度

- 木材の造作工事、木彫刻の取り付け
- 屋根瓦葺き開始
- 塗装工事開始

2025

令和7年度

- 外部彩色、内部彩色
- 素屋根・木材倉庫解体
- 両廊下の整備開始



今後の工事スケジュール(予定)

2023

令和5年度

- 素屋根、見学棟（階段・EV）の整備
- 正殿基礎工事
- 木材加工、軸組建方工事

2024

令和6年度

- 木材の造作工事、木彫刻の取り付け
- 屋根瓦葺き開始
- 塗装工事開始

2025

令和7年度

- 外部彩色、内部彩色
- 素屋根・木材倉庫解体
- 両廊下の整備開始

2026

令和8年度

- 外構工事
- 正殿・両廊下 完成



- 火災により被災した赤瓦のうち、破損せずに残った瓦について、今後の北殿・南殿等の復元で再使用するため、「首里城赤瓦漆喰はがしボランティア」を実施。
- 正殿の赤瓦の原料に使用するシャモット（破損瓦を粉末にしたもの）を製作するための粗割り作業「首里城正殿赤瓦シャモット製作ボランティア」を実施。
- 正殿等の漆塗装の原料に使用するニービの粉（正殿の柱を支えていた礎石を粉末にしたもの）を製作する「首里城うるし塗り原料“ニービの粉”製作ボランティア」を実施。

【首里城赤瓦漆喰はがしボランティア】

- ・開催日程：1期目／R2年3／23～4／4（コロナで中断）
2期目／R2年10／24～12／25
3期目／R3年3／20～4／18
4期目／R3年11／6～11／14
- ・実績：のべ約4.3千人参加、約2.4万枚の瓦を処理

【首里城正殿赤瓦シャモット製作ボランティア】

- ・開催日程：R4年8／3～11／30
- ・実績：のべ約1.2万人参加、約8.6tのシャモットを製作



【首里城赤瓦漆喰はがしボランティア】



【首里城正殿赤瓦 シャモット製作ボランティア】

【首里城うるし塗り原料“ニービの粉”製作ボランティア】

- ・開催日程：1期目R5年1／13～5／14
2期目R5年7／21～9／18
- ・実績：のべ約3万人参加、約850kgを製作



【首里城うるし塗り原料“ニービの粉”製作ボランティア】

令和5年度首里城復興祭関連イベント

1. 国王・王妃選出大会

日にち: 令和5年9月24日(日)

場所: 沖縄県立博物館美術館 3階講堂

首里城公園が掲げる「見せる復興」を盛り上げ、琉球王国の歴史と文化の魅力を伝えていく役割を担う国王・王妃の選出大会を、4年ぶりに実施。国王は21名、王妃29名の応募の中から、国王役に渡嘉敷大雅(とかしきたいが)さん、王妃役にスピーナ瑛莉香(すぴーなえりか)さんが選ばれました。



国王役: 渡嘉敷大我(右)
王妃役: スピーナ瑛莉香(左)

2. 首里城復興祭

日にち: 令和5年11月3日(金・祝)～11月5日(日) 3日間開催

場所: 首里城公園及び公園周辺、国際通り

実施プログラム: ①琉球王朝祭り首里 古式行列 ②国王・王妃出御 ③琉球王朝絵巻行列 ④首里城復興 特別見学ツアー
⑤琉球芸能公演 ⑥首里城復興祈念ステージ ⑦首里城正殿ぬりえ体験 ⑧ペーパークラフト作り体験

入園者数: 23,047人(3日間合計)

4年ぶりに琉球王朝絵巻行列を那覇市国際通りで開催し、総勢400人が一大絵巻を再現した。絵巻行列には従来の古典芸能の他に、現代版組踊などの新たな要素を取り入れ、過去から現在、そして未来へ受け継がれる琉球芸能を披露した。

首里振興会と連携し開催した「琉球王朝祭り首里 古式行列」は6年ぶりに通常開催となり、首里城公園から龍潭通り～首里中学校まで練り歩いた。首里城公園では昨年好評だった「首里城復興特別見学ツアー」を開催し、素屋根が完成し建て方工事が始まっている正殿工事を間近で見学した。



琉球王朝絵巻行列



国王王妃出御



琉球芸能公演



首里城復興特別見学ツアー

首里城正殿復元工事端材の活用

1. 端材の無料配布

首里城復興を応援する方々から端材活用の要望が多く寄せられ、首里城公園では令和5年11月25日より、首里城正殿復元工事で発生した端材の無料配布を開始した。キューブ型、名札型、コースター型の3種を1日限定300個として素屋根付近で配布。希望者が列をなすほど大好評だった。



端材配布コーナー



配布した3種類の端材



木材加工の様子

2. イベントでの活用（端材ストラップを作ろう）

日々発生する首里城正殿復元工事の端材を効果的に活用すべく、首里城公園お正月イベント「新春の宴」にて「正殿復元工事の端材でストラップを作ろう」を実施。名札型の端材に、好きな色の紐と好きな柄の紙やすりを選んでオリジナルの端材ストラップを作ることができることができ、1日分が数時間で無くなるほど大好評だった。



選べる絵柄



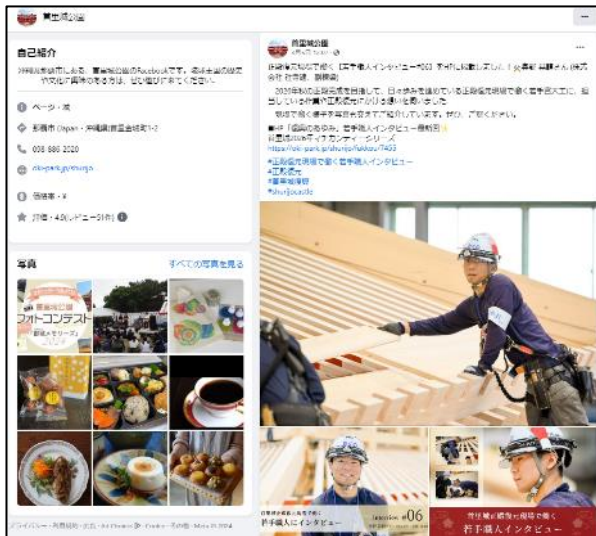
端材ストラップ(完成品)



裏が紙やすりとなっていて
削って香りを出すことができる

SNSを活用した広報活動

首里城公園公式Facebook、Instagram、X(旧Twitter)、YouTubeの4つを運用し、復興の状況や公園イベントをSNSで情報発信している。



Facebook



Instagram



X(旧Twitter)



YouTube

首里城復興の情報発信2

1. 県外プロモーション

(1) 姫路お城まつり

令和5年11月11日(土)～12日(日)に兵庫県姫路市で姫路城で開催された「第73回姫路お城まつり」に参加(那覇市観光協会連携事業)。首里城公園の復興を応援しているお声が多く、姫路城は「平成の大修理」を2009～2015年に行われたことから、首里城公園の「見せる復興」に共感いただいた。



(2) お城EXP02023

令和5年12月16日(土)～17日(日)に神奈川県パシフィコ横浜ノースで開催された「お城EXPO2023」に出展し、首里城の歴史概要や復興の様子を紹介し、VRを活用して復元される正殿のリアル体験を行った。



県の首里城復興に向けた取組状況



策定の趣旨

「首里城復興基本計画」は、基本方針で示した主な施策について、具体的に取り組む際の方向性等を体系的に定め、首里城復興を計画的に推進することを目的としている。

また、県民はじめ多くの人びと、企業・団体等及び行政・大学・関係機関等が、復興基本計画を共有することで、20年、50年先などの未来を見据え、連携・協働して、首里城に象徴される沖縄の歴史・文化の価値を確実に次世代へ継承し、それぞれの時代にふさわしい新たな文化創出など沖縄発展の礎として首里城復興に一体的かつ継続的に取り組んでいく。

計画の位置づけ

本復興基本計画は、令和4年(2022年)度を始期とする新たな沖縄振興計画の実施計画において、首里城復元はもとより、首里城に象徴される歴史・文化の観点から沖縄振興を目指す施策のマスタープランとなるものである。

首里城復興が目指す将来像

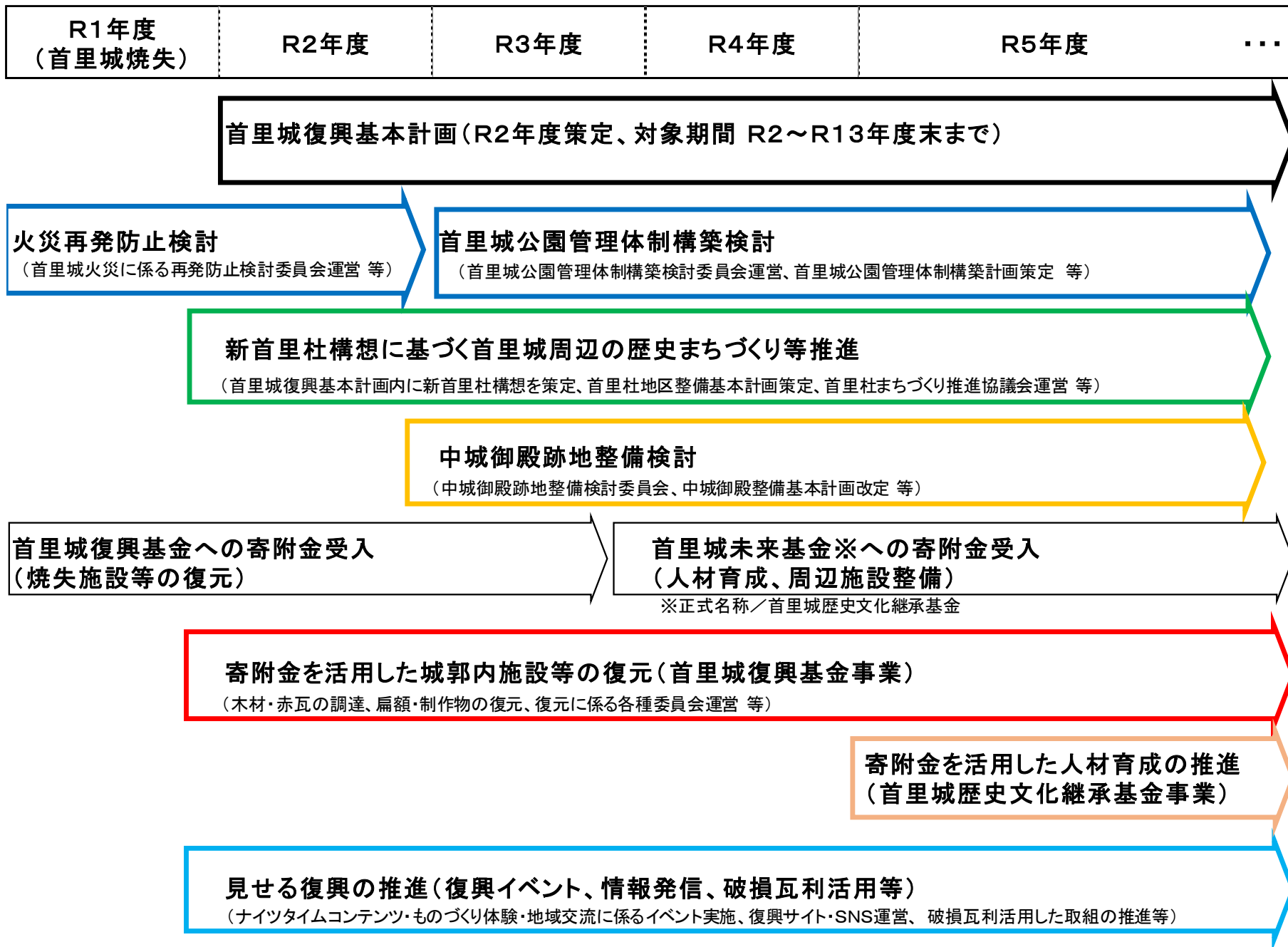
首里城に象徴され、古より体験・継承している歴史・文化を基層として、ふるさとへの誇りや愛着を感じられる社会が形成されるとともに、その時代に生きる私たちがそれぞれの挑戦を通して多様で重層的な沖縄振興が果たされている。

そして、これらが積み重なって沖縄の新たな歴史・文化が創造され、これらが基層に加わることで、さらに発展していく社会を目指す。

基本施策	施策展開	主な担当部局
1. 正殿等の早期復元と復元過程の公開	(1)伝統技術を活用した施設整備 (2)木材、瓦等の調達に向けた取組 (3)復元過程の公開による観光資源としての活用	土木建築部
2. 火災の原因究明及び防火設備・施設管理体制の強化	(1)再発防止に向けた防火設備等の強化 (2)安全性の高い施設管理体制の構築	土木建築部
3. 首里城公園のさらなる魅力の向上	(1)国営・県営区域の一体的利用 (2)多様で柔軟な施設の活用	土木建築部
4. 文化財等の保全、復元、収集	(1)首里城跡の適正な保全と価値の周知 (2)文化財等の復元、修復及び収集	文化観光スポーツ部 教育庁
5. 伝統技術の活用と継承	(1)伝統的な建築技術の活用と継承 (2)美術工芸における伝統技術の継承	商工労働部 土木建築部 ※1 文化観光スポーツ部 教育庁
6. 「新・首里杜構想」による歴史まちづくりの推進	(1)歴史を体現できる風格ある都市空間の創出 (2)首里城公園及び周辺地域の段階的整備 (3)交通環境の整備	土木建築部
7. 歴史の継承と資産としての活用	(1)多様で魅力ある観光資源の活用 (2)平和を希求する「沖縄のこころ」の発信 (3)次世代を担う子どもたちへの継承	子ども生活福祉部 文化観光スポーツ部 商工労働部 教育庁
8. 琉球文化のルネサンス	(1)多様性・独自性を持つ琉球文化の再認識 (2)琉球文化の復興と新たな文化の創出 (3)国内外へ向けた琉球文化の発信	文化観光スポーツ部 商工労働部 教育庁

※1首里城未来基金を活用した人材育成をR5から開始

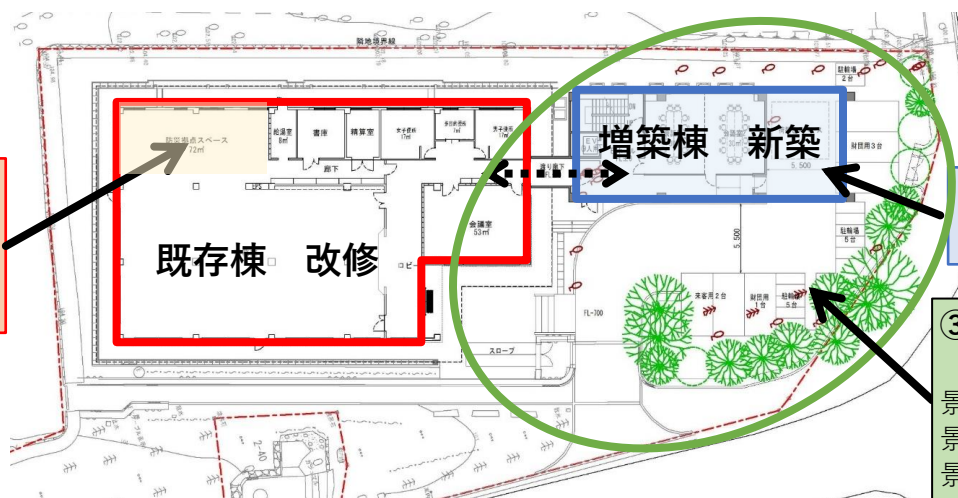
首里城復元・復興に向けたスケジュール（県）



首里城公園の管理体制構築「公園管理センターの増築・改修」

令和4年度に策定した基本設計方針を踏まえ、**首里城公園管理センター及び首里杜館の増築・改修の実施設計**を行った。また、防災設備等の基本設計業務と密に連携し、業務を行った。

取組	年度	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)
管理センター 及び首里杜館 の増築・改修		整備方針	基本設計 管理センター の基本設計 (景観検討を含む)	実施設計 管理センター及び 首里杜館の 実施設計 (建築審査会等を含む)	増築・改修工事 管理センター及び 首里杜館の 増築等工事 (国営公園との連携構築に 伴う設備等を除く)	工事 国営公園との連携構築に伴う 設備等の整備 (城郭内の情報を奉神門以外への共有)	
				防火設備等の詳細検討を反映			
防災設備等 の整備 火災受信機 監視モニター 放送設備 自家発電設備		防災センター機能 の向上の考え方	詳細検討 正殿単体完成時に向けた 防火設備等の課題の抽出 防災設備等の 詳細検討 ※国と県の役割分担等を含む	基本設計 防災設備等の 基本設計等 ※国と県の役割分担等を含む	実施設計 初動対応の詳細検討を反映 防災設備等の 実施設計等 全体基本計画を反映	工事 火災受信機、監視モニター、 放送設備、自家発電設備等の 整備	
		復元基本方針	※国の検討	全体基本計画			



① 防災センター機能の強化に係る詳細検討（防火設備等基本設計との連携）

② 各種関係法令に基づく手続き（建築基準法、文化財保護法など）

③ 敷地計画・景観の検討（沖縄県景観評価委員会）
 景観アドバイス会議①令和5年11月13日
 景観アドバイス会議②令和6年1月12日
 景観評価委員会 令和6年2月14日

首里城公園管理センター 配置図（案）

既存棟の配置計画

- ・首里城公園管理センター内に防災拠点スペースを設け、城郭内外の情報の収集と発信に対応できる防火設備等を集約した配置とする。

増築棟の配置計画

- ・必要諸室面積を確保しつつ、周辺景観を考慮して県道50号線側からできる限りセットバックした配置とする。
- ・駐車・駐輪スペースを最小限に抑えて、既存植栽帯を活かし、現在の緑の景観を保持するように計画する。

建築計画

- ・増築部分は、地下1階・地上2階建てとする。
- ・既存棟と屋根葺き方や屋根勾配を統一する。

立面計画と施設の色彩の計画

- ・既存管理棟と渡り廊下でつなぐ増築部分であることから、施設全体として外観の一体感を持たせるため、既存管理棟と同様の仕上材とし、腰壁(厚30杉板張り)や巾木(琉球石灰岩)の高さを既存施設と揃える計画とする。

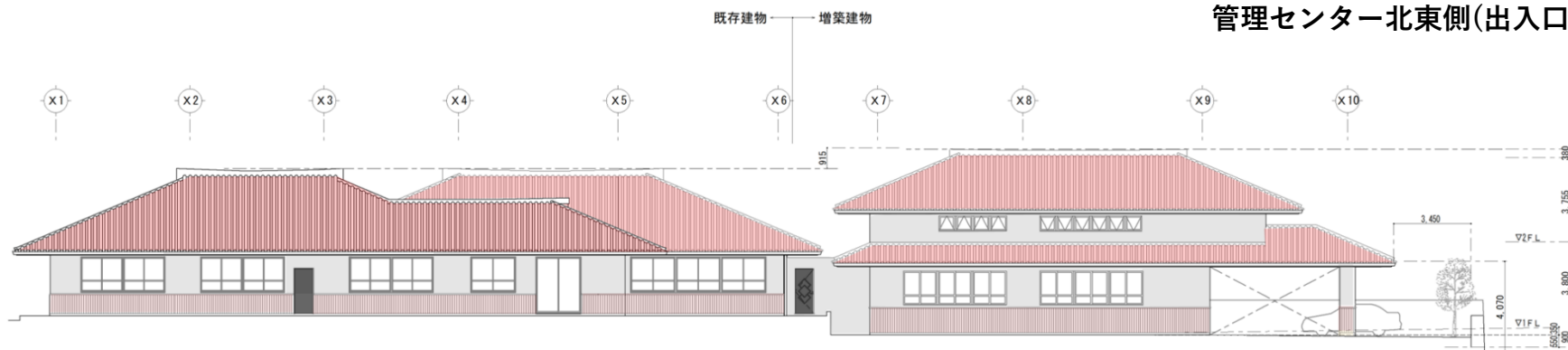
<参考> BIMソフトを用いた3Dパース



管理センター西側（県道50号線側）



管理センター北東側(出入口)



中城御殿跡地整備の概要

【施設概要】

王国末期から戦前に至る王家ゆかりの屋敷で竣工間取図などの復元（再現）を可能とする根拠資料が存在する。

【事業実施場所】

旧県立博物館跡地（首里城公園（県営区域）内）

【規模・総事業費】

敷地面積：約11,330㎡
延べ床面積：約3,870㎡（RC造3,030㎡、木造840㎡）

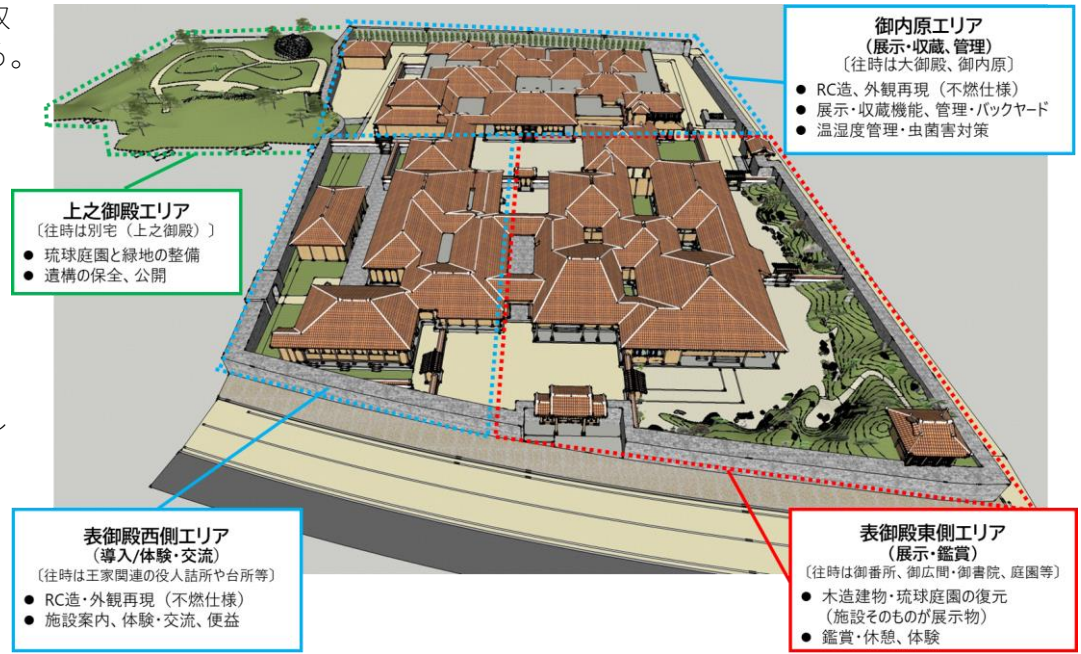
【令和3年度整備基本計画改定の概要】

- ・首里城復興基本計画を踏まえ主に以下の項目を見直し
- ①展示収蔵計画の拡充見直し（美術工芸品の保存管理）
- ②施設全体の防災・防火対策の強化
- ③公園全体の一体利用、魅力向上に資する利用の拡充

【中城御殿整備スケジュール（案）】

項目	事業	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10	令和11	令和12	令和13
		2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031
城郭内	正殿復元	実施設計	発注手続 (WTO)		工事		正殿完成	※城郭内スケジュール 令和2年3月公表 「首里城正殿等の復元等に向けた工程表」参照				
中城御殿	松崎馬場など 龍潭周辺整備		松崎馬場など龍潭周辺整備 調整、設計		工事		△令和8年 首里城正殿復元 工事完成予定	公開（供用開始）				
	【第1期工事】 上之御殿 (庭園・広場)		上之御殿 設計	工事				公開（供用開始）				
	【第2期工事】 御内原 表御殿西側 (RC造)		御内原・表御殿西側 設計 ※時期調整中		工事			公開（供用開始）				
	【第3期工事】 表御殿東側 (木造復元)	事業化に向け 引き続き調整					表御殿東側 設計		木材調達、本体工事			

中城御殿イメージパース



首里まちづくり研究会作成パース



中城御殿の家門（正門）那覇市歴史博物館



中城御殿上之御殿エリア（第一期工事 R5～）の整備方針

往時の立岩周辺の写真



遺構写真（上之御殿庭園遺構）



整備計画イメージパース



北側アプローチ

- ・上之御殿エリアからの緊急時避難経路として、北側に階段を設ける。
- ・階段及び擁壁の外観は、中城御殿の景観に馴染む仕上げを行うものとする。
- ・発掘調査にて遺構が検出された場合は、検出遺構を基に計画を見直すものとする。

西側の段差

- ・エリア西側の石積み遺構等は保全する。
- ・段差があった往時の地形（段差）を表現するため、新規石積を設置する。

園路・植栽

【園路】

- ・来訪者が自由に空間を味わう広場とし、園路は整備しない方針とする。

【植栽】

- ・遺構が確認されている旧階段や庭園周辺などのエリア（南側・東側）は抑制的な植栽とし、新たな擁壁や造成を行うエリア（西側・北側）は修景植栽や遮蔽植栽を検討する。

庭園遺構

- ・上之御殿庭園は、将来の文化財指定の支障とならないよう、整備は最小限とする。

立岩（ガジュマルの拝所）周辺

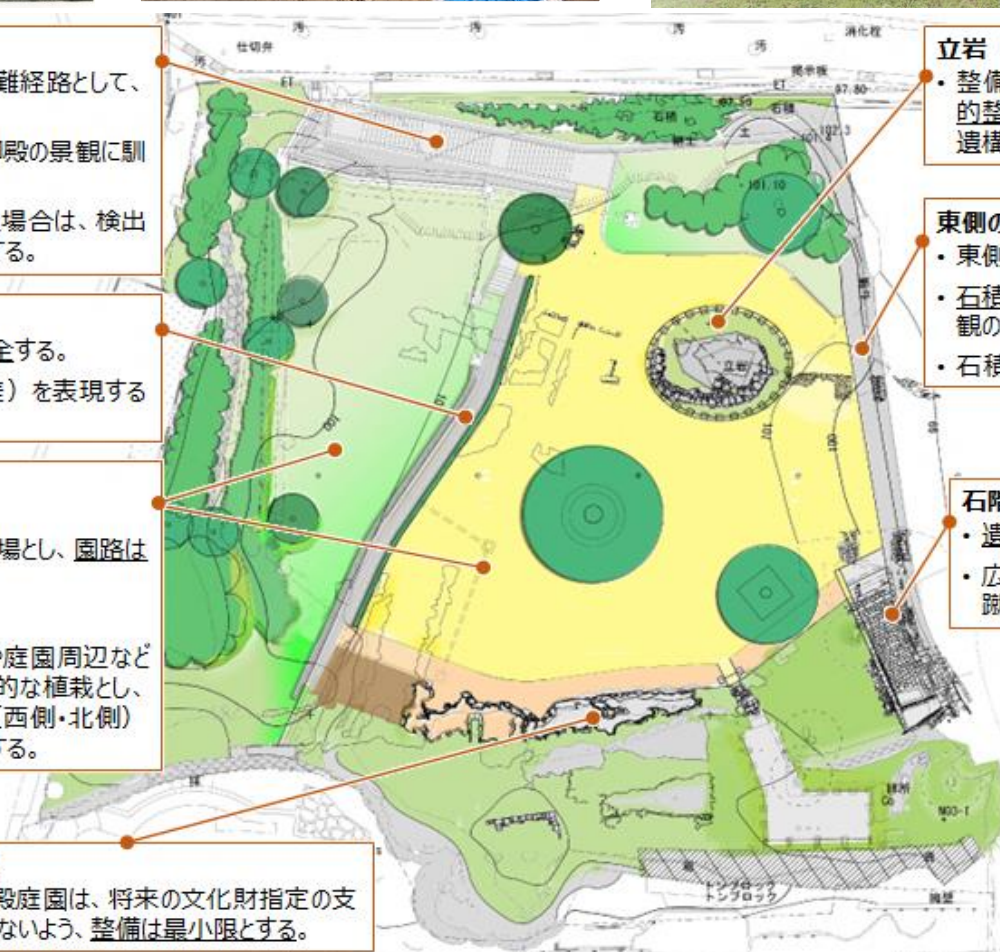
- ・整備の根拠となる資料が少ないため、今回は復元的整備は行わないものとし、外周に来園者の安全や遺構保護を目的とした進入禁止柵を設置する。

東側の石積

- ・東側の残存石積は、修理し、活用する。
- ・石積がない箇所は新たに石積擁壁を整備する。外観の仕上げについては景観に馴染むよう配慮する。
- ・石積の高さは、古写真の分析等により推定する。

石階段

- ・遺構を修理し、活用する。
- ・広場の計画高にあわせるため、旧階段と同様な蹴上と踏み幅の階段を新たに2段設置する。



松崎馬場跡の整備方針

- 首里城正殿及び中城御殿の整備工程を踏まえ、令和8年度までに松崎馬場の空間を整備する。
- 宿道上の遺構の保全、公開、活用等の方針は中長期的な視野で検討するため、遺構の真上を避けた位置に園路を整備する。

【園路整備の方針】

- ① 園路(宿道)は、令和8年度までの供用開始に向け暫定的なルートでの整備とする。
- ② 園路整備では、中城御殿と公園中心部を結ぶ来園者や管理車両等の通行機能を確保する。
- ③ 園路は、師範学校時代の石垣や芸大石積を迂回したルートとする。
- ④ 園路整備にあたっては、宿道(松崎馬場)の歴史的風致景観や世持橋からの景観に留意する。
- ⑤ 園路幅員は、試掘調査で検出された宿道遺構の舗装幅員の4.0mを基本とする。
- ⑥ 園路沿いで転落の恐れのある箇所については、安全対策を講ずるものとする。
- ⑦ 園路沿いの芸大境界側には築山・植栽帯を設け、芸大駐車場からの雨水等を受ける側溝を設ける。

【広場整備の方針】

- ① 利用者の休憩や歴史学習への活用を想定し、国学・首里聖廟石垣前と松崎(龍潭突出箇所)付近、園路中間付近に広場を配置する。
- ② 周辺施設の景観や遺構に留意するとともに、広場の機能を考慮した整備を行う。



松崎馬場植栽等計画図

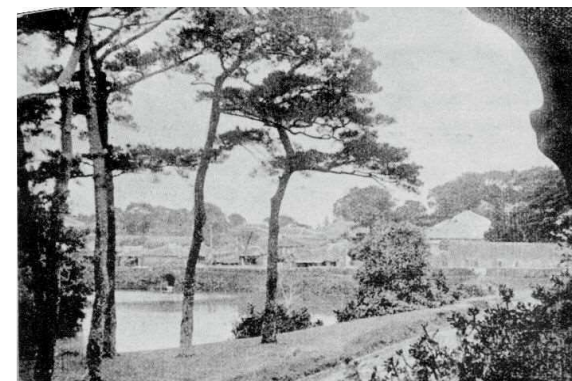


松崎馬場のイメージ

出典：NPO法人首里まちづくり研究会ホームページ



『中山傳信録』の「重陽宴図」（1719年冊封）
琉球大学



首里杜地区整備基本計画（令和4年4月策定）の概要

〇目的

首里城復興基本計画の基本施策に位置付けられた「新・首里杜構想による**歴史まちづくりの推進**」を目的とし、首里杜地区の目指す姿や具体的な施策などを取りまとめた計画である。

〇計画期間

- ・計画期間は、**令和4年度から令和13年度までの10年間**とする。
- ・正殿完成予定の**令和8年度まで**を前期5年、以降を後期5年とする。

〇計画の特徴

計画の各取り組みについては、**具体的なロードマップ**を整理している。また、多様な主体が連携して効果的なまちづくりを行えるよう、テーマやエリアごとに**関連する施策や事業をパッケージ化**した点が特徴である。



〇計画の推進体制

令和4年度に、有識者、行政関係、地域団体、関係事業者等で構成する「**首里杜まちづくり推進協議会**」を設置し、計画の進捗管理や改善を実施。令和5年度の協議会では、**県、那覇市、地域団体の三者にて事務局を担い、龍潭周辺の全体利用のあり方や地区交通の検討に係るワークショップ**などを行った。

〇取り組みロードマップ(一部抜粋)

2026(令和8)年 首里城正殿完成予定

方針	中項目	小項目	取り組み No	継続 or 新規	事業	事業主体	前期(5年)					後期(5年)
							2022年度 令和4年度	2023年度 令和5年度	2024年度 令和6年度	2025年度 令和7年度	2026年度 令和8年度	2027~2031年度 令和9~13年度
(1)古都首里を感じられる空間の創出	①古都首里を感じられる良好な景観形成の推進	景観に配慮した良質な公共空間の創出	4	継続	無電柱化推進事業(県道49・50号線)	県(道路管理課)	調査(文化財)			設計		工事
			5	継続	公共事業における景観アセスメント	県(都市計画・モノレール課)	景観アセスメント対象事業の選定・実施					
		11	継続	沖縄らしい風景づくりに係る人材育成	県(都市計画・モノレール課)	人材育成・シンポジウム等の計画・実施等						
(2)歴史文化資源等の保全・整備・活用	①幅広い歴史文化資源の再評価と保存・活用	推進に向けた調査・計画の策定	15	新	第32軍司令部壕保存・公開	県(女性力・平和推進課)	有識者委員会における検討					
			16	継続・新	中城御殿跡地整備	県(首里城復興課・都市公園課)	設計		工事			
			17	継続	円覚寺三門復元工事	県(文化財課)	工事					
			18	継続・新	龍潭周辺整備(松崎馬場、世持橋等)	県(首里城復興課・都市公園課)	調査・設計		工事等(順次実施)			
			20-1	新	指定文化財周辺の環境整備(南城郭、継世門等の修復保全)	県(文化財課)	調査・設計・工事等(順次実施)					
	③歴史文化資源の魅力向上・活用や新たな資源の創出	地域と協働による新たな文化資源の創出	21-1	新	地域資源の調査及び修景等	県(首里城復興課)	取り組み方針の検討	調査・設計		整備等(順次実施)		
			22	継続・新	渋滞ボトルネック対策	県(道路街路課)	交通量調査、渋滞長調査、対策検討、対策実施(順次実施)、効果検証					

首里杜まちづくり推進協議会（令和4年9月設立）の概要

令和5年度テーマ活動状況



令和5年度の活動概要

- ①各主体が進める事業の内容確認／進捗確認
- ②部会におけるテーマ別活動の推進
- ③首里杜地区のまちづくりや協議会に関する情報発信

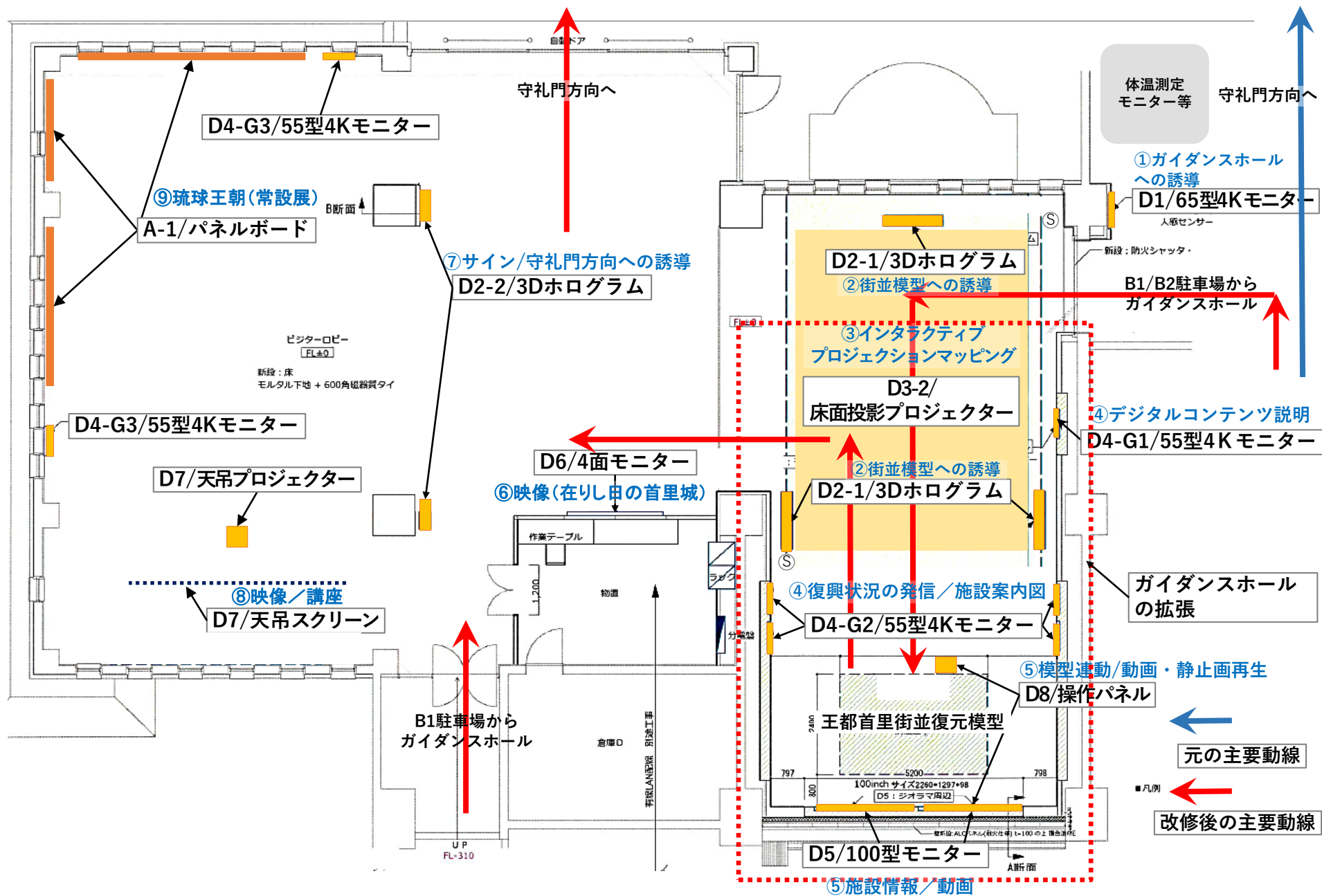
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
首里杜まちづくり推進協議会	第1回協議会						第2回協議会	
部会		景観・歴史文化部会① 暮らし・生活環境部会①			景観・歴史文化部会② 暮らし・生活環境部会②			
事務局		各テーマ活動		2~3回				
構成員・関係機関	調整、連携							

事務局体制

地域事務局を首里杜まちづくり団体連絡協議会、市事務局を那覇市都市計画課、県事務局を沖縄県首里城復興課に設置し、協議会の調整やとりまとめを行う。

構成員分類	構成員	
(1) 地域	地域住民・団体 など	首里杜地区まちづくり団体連絡協議会
(2) 事業者	地域に所在する観光・商工・交通に関連する事業者、NPO、社団法人 など	首里染織館suikara
	バス・タクシーなど公共交通関連事業、観光DXなど関連テーマを推進する団体・事業者 など	S C S K株式会社
(3) 学術機関、専門家、団体	地区や取り組みに関連する学術機関や専門家グループなど	国立大学法人 琉球大学
(4) 行政	国、県、市	那覇市
		沖縄県
		国（沖縄総合事務局）
(5) その他 必要な構成員	首里城公園管理者 など	一般財団法人 沖縄美ら島財団

首里杜館-ガイダンスホールの改修について (1)



首里杜館-ガイダンスホールの改修について (2)



インタラクティブプロジェクションマッピング
D3-2/床面投影プロジェクター



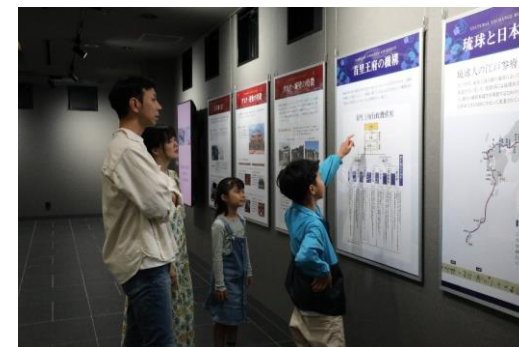
王都首里街並復元模型/解説動画等
D5/100型モニター(2台)



サイン/守礼門方向への誘導
D2-2/3Dホログラム



街並模型への誘導
D2-1/3Dホログラム



琉球王朝 (常設展)
A-1/パネルボード

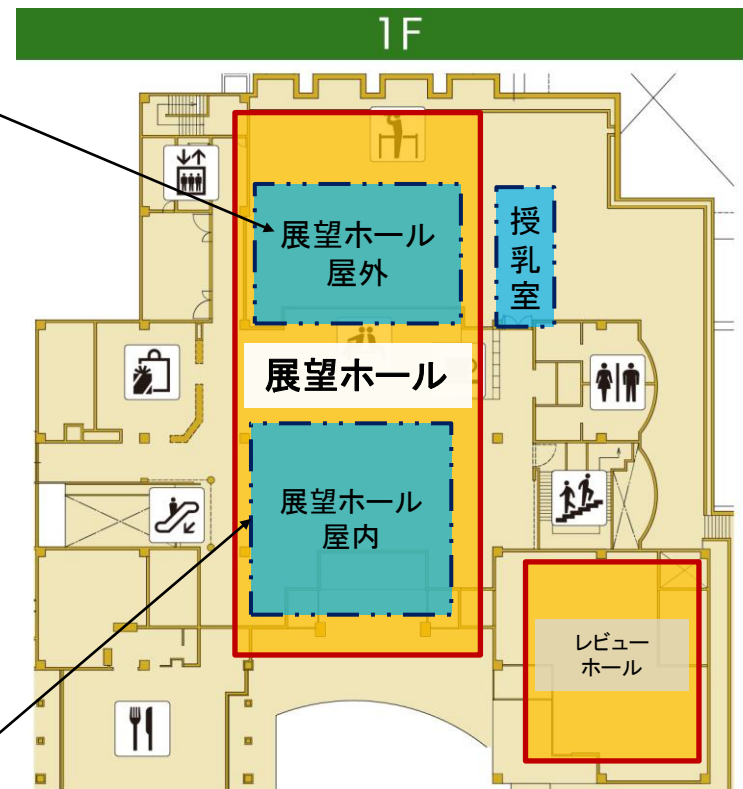
首里杜館-展望ホールの改修について



デッキの新設により、首里のまちが一望できる空間を整備



公園全体を感じさせながら街に誘う空間演出



首里杜館-レビューホールの改修について

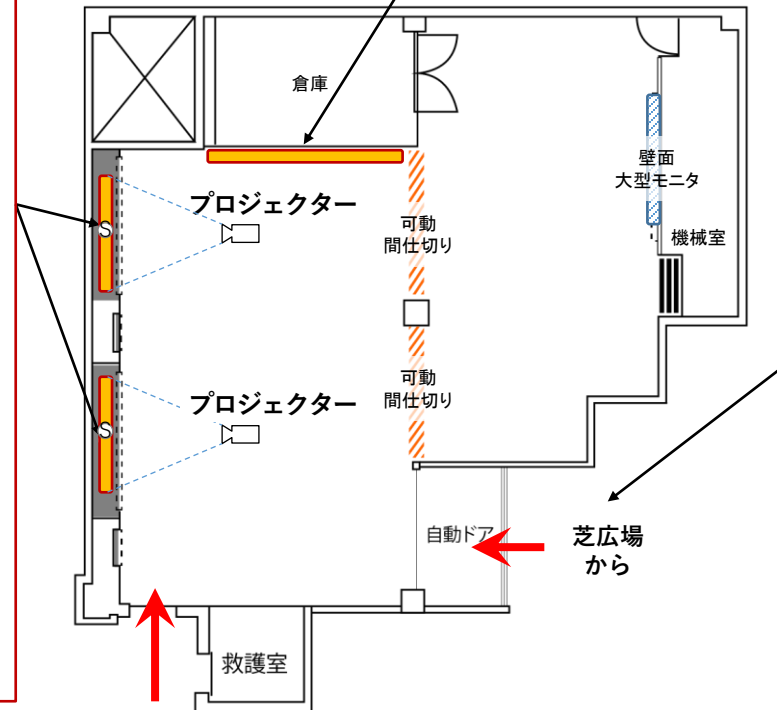


復興に関わる「人」のコンセプト展示



壁面投影型デジタルコンテンツ

首里城に関する歴史・文化を楽しみながら
学習できるデジタルコンテンツ



展望ホールから



【参考】.芝生広場からの動線

首里杜館-復興展示室の改修について

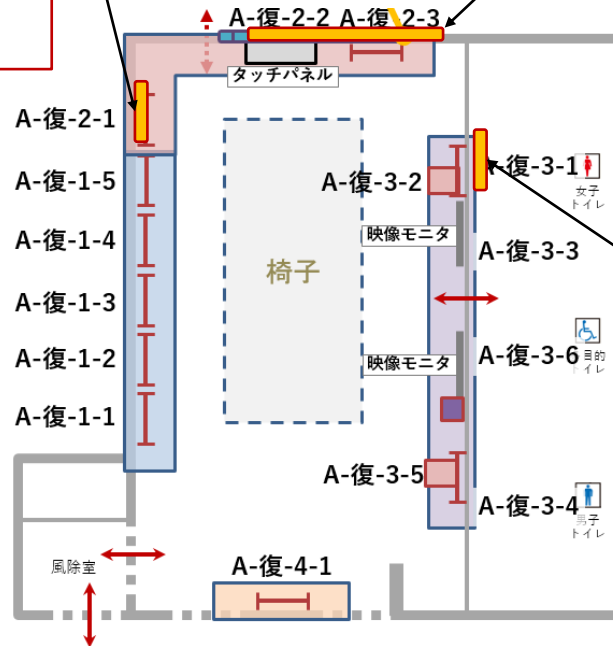


復興正殿復興状況の深堀
寄附金を活用した
制作物(試作品等)の実物展示



復興に関する技術の発信

寄附金を活用した制作物に関する
技術を動画で紹介(当年度)



復興正殿復興状況の深堀

寄附金を活用した制作物に関する
技術を動画で紹介(過年度)

県民等の復興への参画促進への取組（ナンバープレート導入）

県では、「地方版図柄入りナンバープレート」の制度を活用し、首里城復興への願いを込めて、「首里城」を取り入れたデザインの自動車ナンバープレートの普及促進を図っている。令和5年10月から交付がスタートし、令和6年3月時点で6,272枚が発行された。

首里城図柄入り 自動車ナンバープレートデザイン 最優秀賞



沖縄のナンバープレートにもなるので、沖縄を象徴するシーサーと首里城のイラストを用いました。左下には、首里城のある那覇市の花ブーゲンビリアを入れています。遠くからでも首里城の全体像が把握でき、ナンバーの視認性は損なわないように工夫しています。

寄付金あり (カラー)	沖縄599 あ 20-46 登録自動車(自家用)	沖縄599 あ 20-46 軽自動車(自家用)	沖縄599 あ 20-46 登録自動車(事業用)
	寄付金なし (モノクロ)	沖縄599 あ 20-46 登録自動車(自家用)	沖縄599 あ 20-46 軽自動車(自家用)

※発行手数料に加え、1,000円以上の寄付をしていただきますと、フルカラー版の図柄入りナンバープレートが選択できます。

令和5年9月25日
首里城ナンバープレート
事前受付開始にかかる
記者会見を実施



首里城図柄入り
ナンバープレート交付記念
令和5年10月23日交付スタート

令和5年10月23日
首里城ナンバープレート
交付記念イベントを実施



首里城火災で焼け残った瓦や石材を首里城の思い出として活用したいとの声を受け、首里城への「思い」を多くの人が共有し、形として残していくことを目的に、破損瓦等活用事業を実施。活用希望者に破損瓦等を配布し、様々なイベントや活動に活用されている。

首里城破損瓦・石材活用者募集

首里城火災で焼け残った瓦や石材を利用して様々なイベントや活動を行ってもらうことで、首里城への「思い」を多くの人が共有し、形として残していくことを目的としています。

みんなの首里城への思いを形に残そう!!

店舗のカウンター、花器・花飾、校内の環境美化整備、建物のエクステリア

PICK UP



首里城破損瓦・石材利活用コンクール開催

令和5年9月～令和6年2月にかけて、沖縄県内の教育機関等を対象に、破損瓦・石材を活用したコンクールを実施したところ、沖縄県立那覇西高等学校が最優秀賞に選ばれた。

首里城破損瓦等事例集

みなさま独自のアイデアで、一人一人の「思い」を形にしましょう!!

- 1 リメンバー首里城大作戦 (例) 運動場
- 2 破瓦を利用した 壁紙デザイン
- 3 新築店の 内外装デザイン
- 4 焼きモノづくり
- 5 新社屋の 案内サイン
- 6 校内の 環境美化整備
- 7 美術授業や 体験学習による 活用
- 8 ホテル館内における 活用工事

建設部 土木部 営業部



県民等の復興への参画促進への取組（シンポジウム開催）



県、琉球大学、県立芸術大学の三者共催により、行政、芸術、人材育成、学術の面から首里城復興と沖縄の歴史文化復興に関するシンポジウムを開催。

【日時】 令和5年10月29日(日)



【会場】 沖縄県立博物館・美術館
 (シンポジウムの様子を琉球大学地域連携推進機構 YouTubeチャンネルにてアーカイブ配信)

事前申し込み制・参加費無料

令和5年
 日 10月29日[日] 13:00 ▶ 17:10
 時 (12:30 開場)
 会 沖縄県立博物館・美術館
 場 沖縄県那覇市おもろまち3丁目1番1号
 定 100名(申込み先着順)

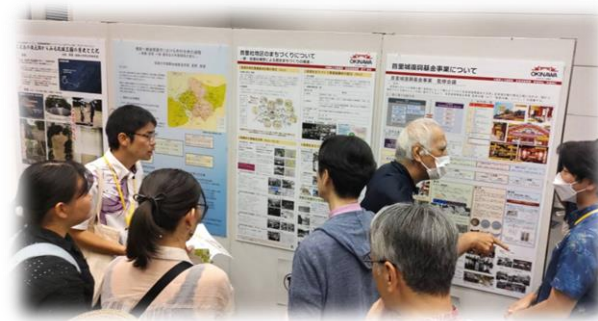


／ 歴史文化・サイエンス・教育・まちづくりなど、首里城に関連した多様な研究や取組を共有します。／

13:00	開会の挨拶 (沖縄県立芸術大学長 波多野 泉氏)	
13:05	第一部 基調講演 高良 倉吉氏 「首里城復興の現在地と今後の展開」	
14:00	第二部 口頭発表(3題) 「首里城正殿の復元と首里城公園の多様な活用に向けて」 「首里城正殿二階の御書置架について」 「首里城正殿再建に使用する県産木材の基準強度評価 プロジェクト」	
15:05	第三部 ポスターセッション(16題)	
16:10	第四部 パネルディスカッション 「復興の現在地と今後の展開と学術ネットワークの役割」	プログラム詳細はこちら 
17:05	閉会の挨拶 (琉球大学長 西田 睦氏)	



口頭発表



ポスターセッション

協力：一般社団法人ものづくりネットワーク沖縄、SCSK株式会社、NPO法人首里まちづくり研究会
 後援：内閣府沖縄総合事務局、那覇市、一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー
 問い合わせ先：琉球大学 総合企画戦略部 地域連携推進課
 Mail: chikikaku@accu-ryukyuu.ac.jp
 ※フォーラム前日及び当日のお問い合わせは対応いたしかねますのでご了承ください。
 詳しくは で

お申込みはこちら Try Me! 

令和5年度 首里城復興イベント概要

首里城への来訪を推進し、その着実な復興の状況を共有することを目的に、首里城の復元及び象徴される琉球の歴史・文化を「観て」「学んで」「楽しむ」機会を創出し、その魅力の再認識に繋がるイベントを開催。

【日程】 令和5年12月9日(土)・12月10(日) / 令和6年2月17日(土)・2月18日(日)

【会場】 首里城公園 有料区域内



首里城ファンタジアナイト



ものづくり体験(12月:灯籠づくり/2月:時計づくり)



首里城復興に係る寄附金の状況

沖縄県に寄せられた寄附金額（令和6年3月末）

5,907,482,338円

（内訳）

令和元年11月～令和4年3月 **5,541,420,099円**

（首里城復興基金／首里城火災復旧・復興支援寄附金）

令和4年4月～令和6年3月末 **366,062,239円**

（首里城未来基金／首里城歴史文化継承寄附金）

焼失した首里城復元への活用を目的とした「首里城火災復旧・復興支援寄附金」は、令和4年度の正殿工事復元着工を節目とし、令和4年3月末で受付を終了しました。これまでの皆さまの温かいご支援、ご協力を心より感謝申し上げます。

お寄せ頂いた寄附金は、「首里城復興基金の活用に関する方針」に基づき、焼失した城郭内施設等の復元に引き続き活用させていただきます。活用状況は、マスコミ公開や県復興サイト等を通してご報告致します。

今後、県としては首里城に係る伝統的な建築等技術に係る人材育成、周辺の歴史まちづくり推進等、引き続き首里城復興に取り組んでまいります。これら施策の推進にあたり、令和4年4月以降は、新たに「首里城未来基金」を創設し、首里城への思いを持つ皆様との連携・協働の一環として、引き続きご寄付を募集し、県事業と一体的に取り組んでいきたいと考えています。今後とも首里城復興へのご支援・ご協力を何卒よろしくお願い致します。

沖縄県首里城復興基金への寄附金は、令和3年度末時点で約55億円が寄せられており、正殿の木材、瓦、屋外彫刻、室内装飾等に活用することが決定している。

沖縄県首里城復興基金の活用に関する方針 第1・第2より

基金は、一日も早い首里城火災からの復興を願う国外を含めた県内外からの寄附金によって積み立てられていることから、県民はもとより県内外の人びとの想いを尊重し、焼失した首里城の**城郭内の施設等の復元**に活用する。

首里城正殿の復元まで (第1フェーズ)

令和4年3月31日時点

※寄附金 総額
約55.4億円

活用に関する方針 第2より

(1)正殿の木材調達に関する事業

- 大径材(柱・梁・桁などの軸組に使用)の一部
→令和2年9月 国と覚書締結 令和3年7月に国と調達範囲を協議済・調達開始
- 大径材を除く造作材(壁、天井、床などに使用)のうち県産材・化粧材
→令和3年7月 国と覚書締結 **令和5年1月に国と調達範囲を協議済・調達開始**

(2)正殿の赤瓦調達に関する事業

→令和2年12月 国と覚書締結 令和3年度 試作開始 令和5年度以降に国と協議予定

(3)大龍柱等の石彫刻、唐破風妻飾等の木彫刻及び龍頭棟飾等の焼物など、 屋外彫刻の復元に関する事業

- 石彫刻(大龍柱等)・木彫刻(唐破風妻飾等)
→令和3年7月 国と覚書締結 **令和5年1月に国と調達範囲を協議済・作業開始**
- 焼物(龍頭棟飾等)
→令和3年7月 国と覚書締結 **令和5年1月に国と調達範囲を協議済・作業開始**

(4)扁額などの室内装飾の復元に関する事業

- 扁額 →令和3年3月 国と設置同意 令和3年度 事業開始 令和4年度 試作開始
- 扁額以外→令和3年7月 国と覚書締結 **令和5年1月に国と協議済・作業開始**

正殿復元後 (第2フェーズ)

(5)～中略～北殿及び南殿
等の復元に関する事業

県では、首里城正殿の二階に掲げられていた御書扁額3枚の製作に向けて、首里城正殿扁額製作検討委員会を設置し、令和3年度より仕様の検討に取り組んでいる。

令和5年度の取組状況

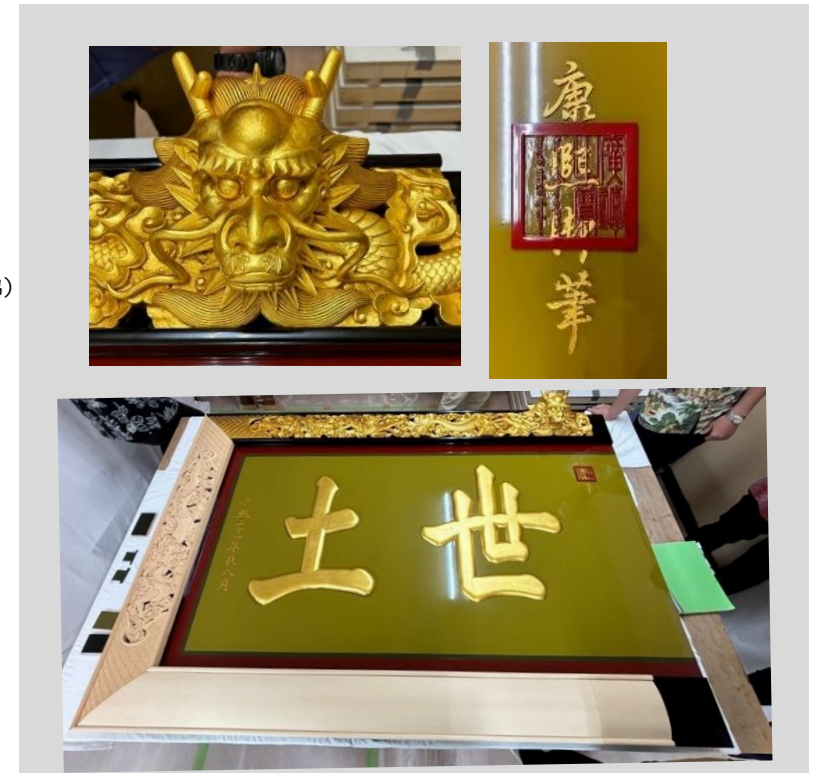
- ・「中山世土」原寸部分試作を製作。
- ・令和5年12月「中山世土」本製作に着手。令和8年の正殿完成に向けて製作を進める。



扁額「中山世土」完成イメージ

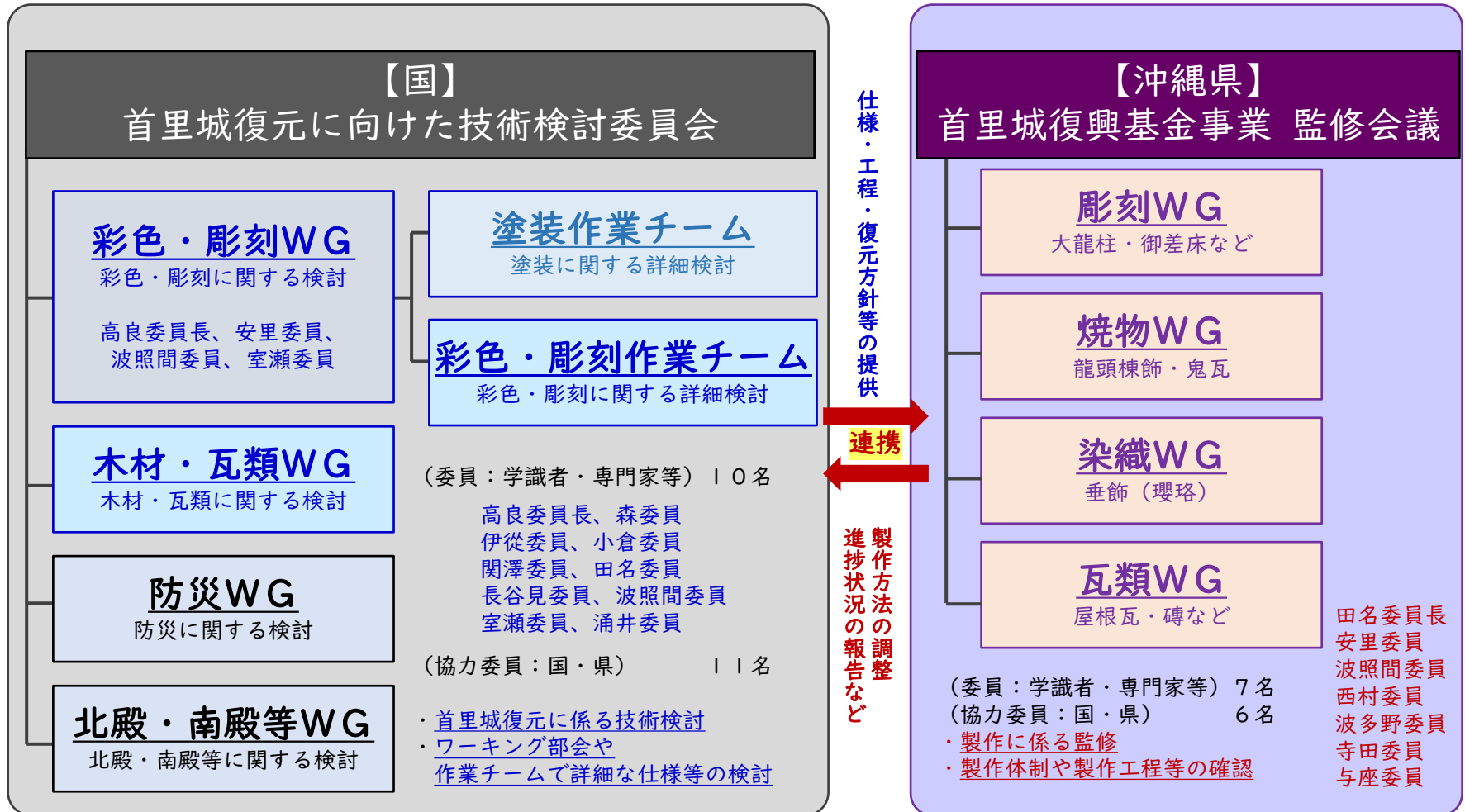


扁額「中山世土」原寸部分試作製作イメージ



扁額「中山世土」原寸部分試作製作状況写真

<目的> 首里城火災からの復興を願う寄附金によって積み立てられた首里城復興基金を活用し、首里城正殿の復元工程に合わせ、国から提供された仕様をもとに円滑に製作できるように、首里城復興基金事業 監修会議（以下「監修会議」という。）を設置する。



□ 県の会議と関係する会議

<任期> 2年更新（再任を妨げない）

監修会議とワーキング部会の構成と役割

- 監修会議では、学識有識者7人のほか、関係機関を協力委員として配置。【設置要綱 第3条】
- 監修会議は、製作及び監修方針をとりまとめる場であり、各分野の監修に係る詳細事項については、ワーキング部会（以下「WG部会」という。）にて検討する。【設置要綱 第2条及び第6条】
- 各分野のWG部会には、技術継承を図るため、若手を1名程度含める。

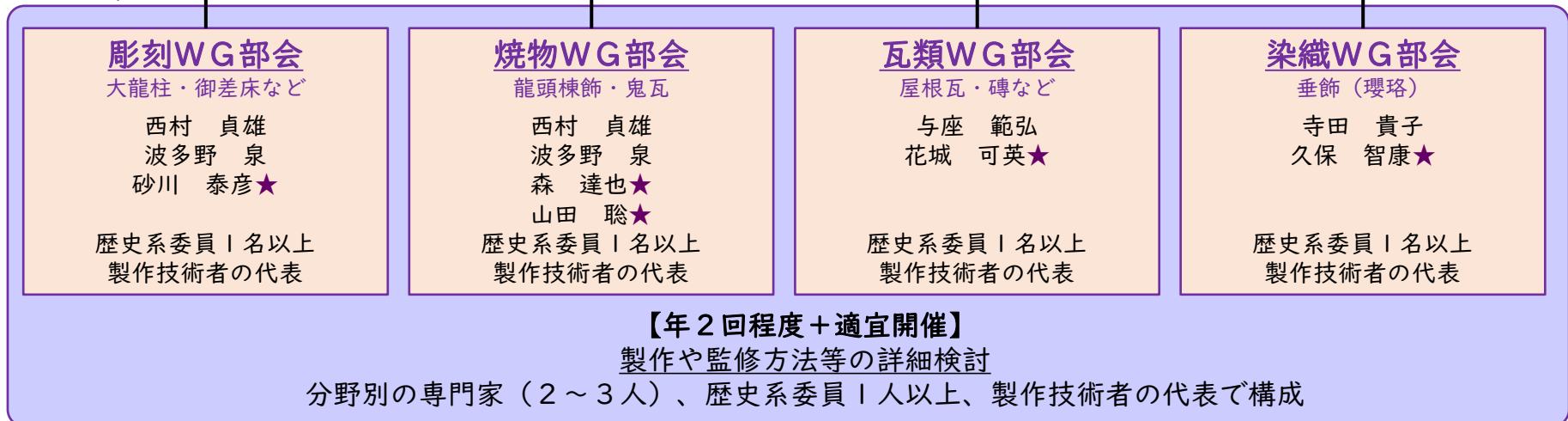
首里城復興基金事業 監修会議
【年2回程度開催】

製作及び監修方針をとりまとめる場
(1)製作体制及び製作作業工程に関すること。
(2)監修方法及び監修頻度に関すること。

委員	歴史(琉球史)	田名 真之	前沖縄県立博物館・美術館 館長(委員長)
	歴史(漆工史)	安里 進	沖縄県立芸術大学 名誉教授
	歴史(文化史)	波照間 永吉	沖縄県立芸術大学 名誉教授
	彫刻・焼物	西村 貞雄	琉球大学 名誉教授
	彫刻・焼物	波多野 泉	沖縄県立芸術大学 学長
	染 織	寺田 貴子	活水女子大学 特別専任教授
	瓦 類	与座 範弘	沖縄県立芸術大学 工芸専攻非常勤講師

※協力委員6人(県・国の関係部局より)

各分野のWG部会



※WG部会のみ参加の学識者は★

今回復元における製作体制について (R6.3.7時点)

- ・ 前述までの方針を踏まえ、今回復元の製作体制について、各WG部会での検討は以下のとおり。
- ・ 製作体制への参加に限られるため、技術継承の裾野を広げるためにも、製作記録の活用を含めて、情報発信等については別途検討する。



【彫刻WG部会】石彫刻の進捗状況（概要）

- 石彫刻及び石工事の進捗状況は、下表のとおりである。

番号	制作物名称	国への引渡期限	新たな知見	状況
1	礎盤（向拝の柱の礎盤、礎石含む）	令和5年9月頃	なし（前回踏襲）	国へ引渡し済
2	礎石（外周柱用/内側柱用/束柱用）	令和5年7月頃	なし（前回踏襲）	国へ引渡し済
3	大龍柱	令和8年4月頃	ねじれの表現など	石膏原型修正中 石材粗彫り中
4	大龍柱の台石	令和8年4月頃	なし（前回踏襲）	材料調達済
5	小龍柱	令和7年3月頃	腹板の数、ねじれの表現 など	石膏原型製作済 石材大割り完了
6	石高欄及び登高欄 親柱上の獅子	令和7年3月頃	獅子の顔及び体の向き、 獅子の造形 など	造形について検討中
7	石高欄（親柱/束石/地覆石/羽目石/笠石）	令和7年3月頃	なし（前回踏襲）	材料調達済
8	持送石	令和7年3月頃	なし（前回踏襲）	材料調達済
9	地覆石	令和5年7月頃	なし（前回踏襲）	国へ引渡し済
10	石階段（正面階段1、階段2,3,5,6,7,8）	令和7年3月頃	なし（前回踏襲）	材料調達済



礎盤
(2023.10/5撮影)



小龍柱_石膏原型
(2023.12/21撮影)



吡形の胴体ねじれ部分の拡大
(2023.12/21撮影)



大龍柱_粗彫り着手の様子
(2024.2/20撮影)

【彫刻WG部会】木彫刻の進捗状況（概要）

- 木彫刻及び造作の進捗状況は、下表のとおりである。

番号	制作物名称	国への引渡期限	新たな知見	状況
11	唐破風 妻飾（火焰宝珠、墓股、金龍、瑞雲）	令和7年1月頃	<u>龍の手足の火焰の形や墓股の木取り・彫り方</u>	模型 製作中
12	唐破風 懸魚	令和6年6月頃	なし（前回踏襲）	材料調達済
13	入母屋破風 懸魚	令和6年4月頃	なし（前回踏襲）	製作中
14	向拝 透欄間（牡丹唐草、獅子）	令和6年10月頃	なし（前回踏襲）	下絵 調整中
15	向拝奥の彫刻物（牡丹に獅子・唐草）	令和7年1月頃	意匠に獅子も含まれていた等	下絵 検討中
16	向拝奥の彫刻物（金龍）	令和7年1月頃	なし（前回踏襲）	粗彫り中
17	向拝奥の彫刻物（獅子）	令和7年1月頃	獅子の大きさ・姿勢	下絵 検討中
24	2階 御差床 須弥壇（高欄含む）	令和6年10月頃	親柱・しまこ柱の形状	材料調達済
25	2階 御差床 龍柱	令和6年10月頃	<u>胴体（腹板）のねじれ等</u>	仕口等 加工中
26	2階 御差床 羽目板	令和6年7月頃	<u>栗鼠の姿勢（漆器事例）、図案配置</u>	下絵 作製中
27	2階 天井額木	令和5年8月頃	<u>火焰宝珠の形態</u>	国へ引渡し済
28	2階 内法額木	令和6年9月頃	<u>火焰宝珠の形態、龍の足の向き</u>	仕口等 加工中
29	1階、2階 台御差床	令和6年12月以降	なし（前回踏襲）	材料調達済
30	国王専用階段（おちよくい）内部手摺	令和6年12月頃	なし（前回踏襲）	材料調達済
31	2階 外部窓手摺			



下絵修正の様子
(2024.2.1撮影)



FRP原型監修
(2024.1.29撮影)



粘土原型監修
(2024.2.22撮影)



粗彫りの様子
(2024.2.22撮影)

【焼物WG部会】龍頭棟飾の製作(外観形状復元)の進捗状況

- 造形は、今回高精細化できた鎌倉古写真(大正11年撮影)をもとに、下地型(110%サイズ)製作時には、大棟2回、唐破風3回の監修を行い確定した。
- 陶土は、【地産地消を見据え、沖縄県産陶土の配合が高いこと】、【強度や対候性を保ちつつ薄型で成形できること】などをポイントに、谷茶土(恩納村産)とヘーシチャー土(恩納村産)の配合に確定した。
- 下地型の上に重ねて製作した石膏凹型を裏返し、陶土を叩きこむ「陶土型起こし」作業を進めている。下地型段階では型抜きを考慮し甘くしていた造形箇所は離型後に陶片を彫込んだり、内側に裏足の形状を付けたり等しながら、陶片の水分調整を適切に行い乾燥を進め、4月から素焼きを予定している。



▲龍頭棟飾(大棟)下地型 ※阿吽形共通



▲石膏凹型製作のようす



▲陶土型起こしのようす(角部)

石膏原型
製作
(1/5)

下地型
製作
(110%程度・
発泡スチロール)

石膏凹型
製作
(型取り)

陶土
パーツ別
型起こし
(内側貼付・離型
・加工・乾燥)

素焼き

施釉

焼成

陶片調整
(仮組含む)

GRC一体成
形屋根骨組と
の
固結・接合
避雷導体調整

【焼物WG部会】鬼瓦の製作(外観形状復元)の進捗状況

- 鬼瓦の造形は、今回高精細化できた鎌倉古写真(大正11年撮影)をもとに、阿吡形とも見直しが必要なため、原型を再制作することとし、粘土原型の段階で3回の監修を行い、石膏原型の製作に入った。
- 鬼瓦の陶土は、令和5年にうるま市内にて確認された“石川白土”の活用を軸に陶土開発を行い、石川白土と谷茶土(恩納村産)の配合に確定した。
- 造形チームでは、粘土原型をもとに石膏原型および陶土型起こし用の石膏凹型の製作作業を進めている。陶芸チームでは、試験用の型を用いて一体物の型起こしや焼成時に大型の造形を保つための裏加工などをして焼成試験を実施し、4月から実際の陶土型起こし作業を予定している。



▲粘土原型 (左：吡形、右：阿形)



▲石膏原型製作のようす



粘土原型
製作

石膏原型 製作
(110%)
石膏凹型 製作

石膏凹型
取外し
→ 再組立

陶土
型起こし
(内側貼付・離型
・加工・乾燥)

素焼き

施釉

焼成

GRC一体成形
(検討中)
赤瓦上での
固定・据付

(1) 刺繍 部分試作

(令和6年1月26日 第5回染織WG時点)

※技法検討用の試作であるため、金糸や刺繍糸は本製作とは異なる。



【火焰宝珠文】

火焰の外側と内側の太さを確認
宝珠内部の駒繡いの雰囲気を確認



【龍文】

胴体の駒繡いの雰囲気の確認
刺繍糸による琉球千鳥繡いの確認



【瑞雲文】

5色の刺繍糸の組み合わせの確認



【刺繍糸（黒、青、赤、黄）】
布地とのコントラストの確認

(2) 飾玉 部分試作

(令和6年1月26日 第5回染織WG時点)

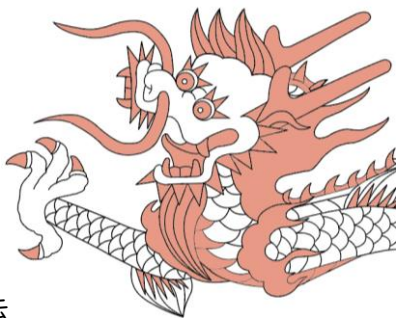
※小玉の大きさの比較、不規則配列による飾玉の見栄えについて検討するための試作を行った。



左小玉：径約 4.5~5.0mmガラス玉（類似復元事業での大きさをもとにしたストック）
右小玉：径約 7.0mmのガラス玉（平成の復元での大きさをもとに今回試作）
両大玉：径約10.0mmのガラス玉（平成の復元での大きさをもとに今回試作）

(3) 刺繍技法の方向性

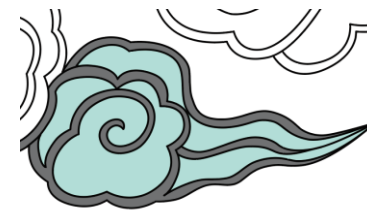
【龍文】



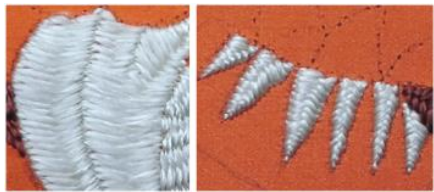
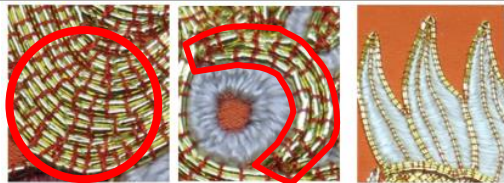


【火焰宝珠文】



【瑞雲文】



※技法赤字：琉球古刺繍の技法

該当箇所／技法	目、髭、牙、角、爪、たてがみ、背びれ、腹板、舌、火焰／ 琉球千鳥繡い	顔、胴部鱗内／駒繡い 胴部鱗縁取り（駒繡いA）／駒押え 輪郭縁取り／駒取り	宝珠外側、火焰外側／ぬき繡い 宝珠と火焰の模様・縁、火焰内側／駒取り 宝珠内部／駒繡い	瑞雲外側／琉球千鳥繡い+押さえ繡いor琉球千鳥繡い 瑞雲内側／ 本綾織り繡い or 琉球千鳥繡い 緞子への切嵌め／金系綴じ繡い
刺繍糸	白系、黒色系（黒目）、赤色系（舌、火焰）	金系、綴じ糸の色味は事例を基に検討中	金系、綴じ糸の色味は事例を基に検討中、赤色系（宝珠外側、火焰外側）	絹糸、金系、綴じ糸の色味は事例を基に検討中
仕上がり		 本駒埋め 片駒埋め 駒取り	 ぬき繡い 駒繡い(輪埋め)	 本綾織り繡い(内側) 琉球千鳥繡い
技法根拠	「伊平屋の阿母加那志繡衣裳」（伊是名村） 「森家伝世15世紀刺繍大袖衣」（沖永良部島）	「帽額」（京都）、「龍繡胴衣」（奄美大島） 「清代・朱地龍双鳥文様・志那服」（名古屋） 「雲龍鳳凰文刺繍足袋」や「緞子地綵繡神衣裳」部分（アジアゲコムネ）	-	「仲村家伝世獬豸（カイチ）文様刺繍裂残欠」（本部町） 「刺繍神衣裳」（久米島町）
製作担当	熟練技術者		熟練技術者	技術継承者
方向性（案）	<ul style="list-style-type: none"> 龍の大部分を占める金系の駒繡いは、技術的に膨大な時間を要するため、「琉球古刺繍保存会」の製作体制では、期限までに表側と裏側の2面の刺繍を完成させることは困難であることが見えてきた。 納期までに表側と裏側の2面を完成させるため、琉球古刺繍の特徴的な技法ではなく時間を要する金系の駒繡いを、専門業者への外部委託を検討する。 事例調査で得られた金系技法を踏まえながら鱗の表現方法と綴じ糸の色を決定する。 		<ul style="list-style-type: none"> 駒繡いを施す宝珠内部は、「引き返し埋め」で設定。  引き返し埋め	<ul style="list-style-type: none"> 現時点での課題は特にないため、技術継承者へ指導しながら本製作に進める。

【瓦類WG部会】赤瓦本製造までの検討

- 焼成試験により、原土の配合率、色味、強度、吸水率、収縮率等を確認。
- 瓦遺物をもとに瓦当文様を検討、モデル作成のうえ決定。
- 製造分担・製造条件・品質管理計画を確認し令和5年12月から本製造を開始。

第2弾焼成試験（4月-5月）

- 石嶺クチャに含まれる鉄粉処理作業の実施
- 原土配合率の変更等
- 第3弾焼成試験の必要性を確認
→原土配合の再検討、石嶺クチャ鉄粉処理の追加検討、正確な吸水率・収縮率の把握が必要

第3弾焼成試験（8月-10月）

- 原土配合2パターン実施
- 石嶺クチャ鉄粉処理にマグネットフィルターを追加
- 本製造同条件による焼成試験（1,030度焼成）
- 収縮率の確定、色味・強度の最終確認

製造条件の確認

- 金型設計・製造（収縮率の反映）
- 製造分担、製造スケジュールの確認
- 製造条件、品質管理計画案の確認

本製造（12月-）

R5年12月 原土処理開始
R6年1月 製土・プレス開始
2月 焼成開始
⇒ 3工場 計 約6万枚

瓦当文様の検討

- 4月
• 瓦遺物3Dスキャン
- 5月～7月
• デジタル加工・修正
• 試作品の製作
• 有識者ヒアリング
• 第3回監修会議にて最終確認



【瓦類WG部会】雲形飾瓦・宝珠の復元方針

項目	前回の復元	今回の方針(案)
配列	<ul style="list-style-type: none"> 昭和修理後の雲形飾り瓦は、修理前の配列をほぼ踏襲 各棟共、両面同じパターンの配列 飾り瓦の配列は単独と一對の繰り返し 一對は互いに向き合う 大棟は中心より左右対称の配列 	【基本的に前回復元を踏襲】
材料	<ul style="list-style-type: none"> 屋根瓦の製作仕様を基本 プレス整形は行わない。 	<p>【基本的に前回復元を踏襲】</p> <ul style="list-style-type: none"> 赤瓦(屋根瓦)と同じ原料を用い、同じ焼成温度で同じ色味、収縮率8%程度とする。 一次成形で型枠による型起こし、二次成形で削り出し、を手作業で行う。
形状・寸法	<ul style="list-style-type: none"> 断面形状:㊸タイプ(削り出し)を基本とする。 寸法:発掘遺物等により下図を基本とする。 	<ul style="list-style-type: none"> 大正13年撮影で今回高精細化した唐破風正面古写真の雲形飾瓦の形状を基本とする。 断面形状:上述の古写真と発掘遺物をもとに、大型・小型は㊸タイプ、中型は㊸タイプを基本とする。
宝珠	<ul style="list-style-type: none"> 大棟中央の丸形飾り瓦は宝珠と思われる。形状・寸法は下図を基本とする。 	<ul style="list-style-type: none"> 基本的に前回復元を踏襲するとともに、高精細古写真を踏まえる。 高精細古写真を踏まえ、上から3本目の線を前回の復元よりも少し上にした形状とする。 <p>大正13年撮影</p> <p>資料:沖芸大・東文研共同研究2024</p>

正殿復元に用いる造作材の県調達

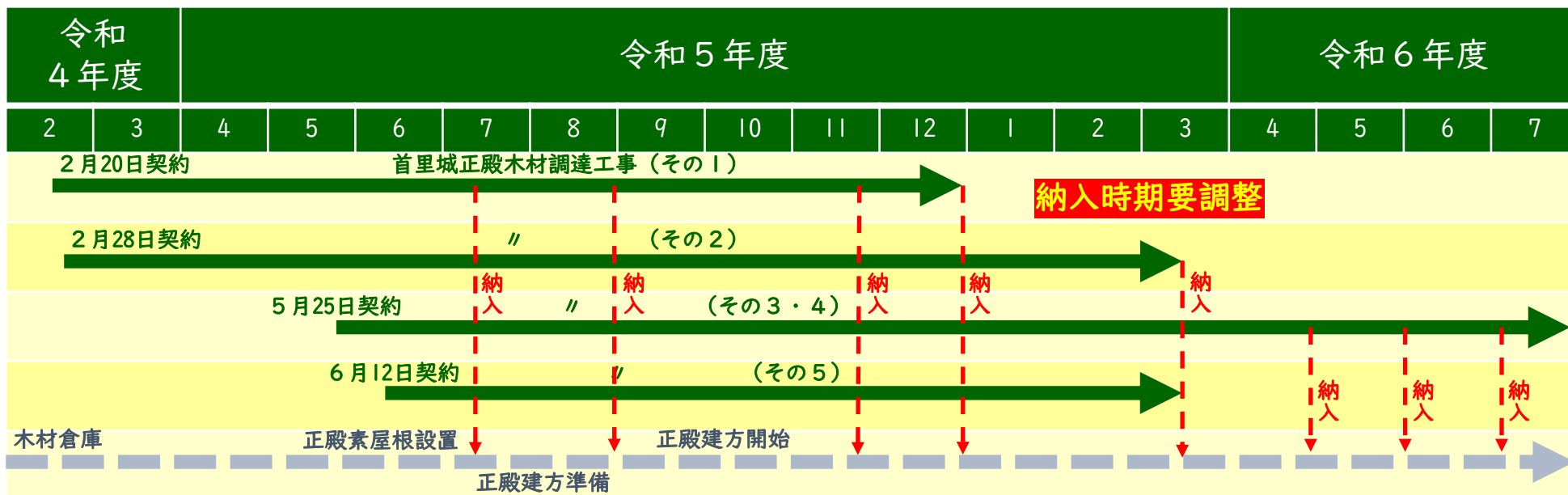
■ 県の木材（造作材）調達工事（概要）

- ・ 契約件名：首里城正殿木材調達工事
- ・ 契約内容：建築一式工事（木材調達（保管・乾燥・製材・運搬等））
- ・ 納入時期：正殿建築工事受注者及び関係機関と要調整
- ・ 調達樹種名：ヒノキ、ヒノキアスナロ、スギ、イヌマキ
- ・ 木材の品質等：（国仕様と同様を原則とする）
 - ① 木材の含水率：角材及び板材20%以下を基本
 - ② 納入木材の品質管理について、自主検査時と立会検査時の実施内容を明確化
- ・ 工事区分：その1【軸組角材・軒廻り角材】（R5年12月完了）
 - その2【造作角材・軒廻り板材】（R6年3月完了）
 - その3【造作角材】（R6年8月完了予定）
 - その4【造作板材】（R6年8月完了予定）
 - その5【造作板材】（R6年3月完了）



造作材引渡検査状況

■ 県の木材調達スケジュール（案）





天井額木用木材の調達状況



県産クスノキ調達状況



県産クスノキ製材状況



外部倉庫への搬入と受入検査状況



国産クスノキの木取り打合せ状況



イヌマキ板材製材状況



県産イヌマキ製材確認

■ 県調達木材の主な産地

- ・ヒノキ 奈良、三重
- ・ヒノキアスナロ 青森
- ・スギ 熊本、奈良
- ・イヌマキ 長崎ほか九州各地
- ・クスノキ 埼玉

- ・首里城復興基金への寄附受付は、令和3年度末を以て終了。
- ・引き続き首里城を思う国内外の多くの皆様と連携・協働し、一体的に復興へ取り組むため、令和4年度から下記の基金・寄付金を創設した。

「首里城未来基金」の活用先について

首里城に象徴される固有の歴史と文化の継承を目的としており、
県が令和2年度に策定した「首里城復興基本計画」の
基本施策に位置づけられている以下2つの事業が対象となります。



I

首里城復興基本計画
基本施策5(1)

伝統的な建築等の技術に
係る人材育成事業

伝統的な建造物木工(宮大工等)、
彫刻、塗装・彩色等の
技術者育成

II

首里城復興基本計画
基本施策6

古都首里の歴史的空間
創出に係る事業

首里城周辺の歴史・文化施設整備、
首里城城壁等の修復、
歴史まちづくり推進等



首里城歴史文化継承基金事業 (R5新規事業)

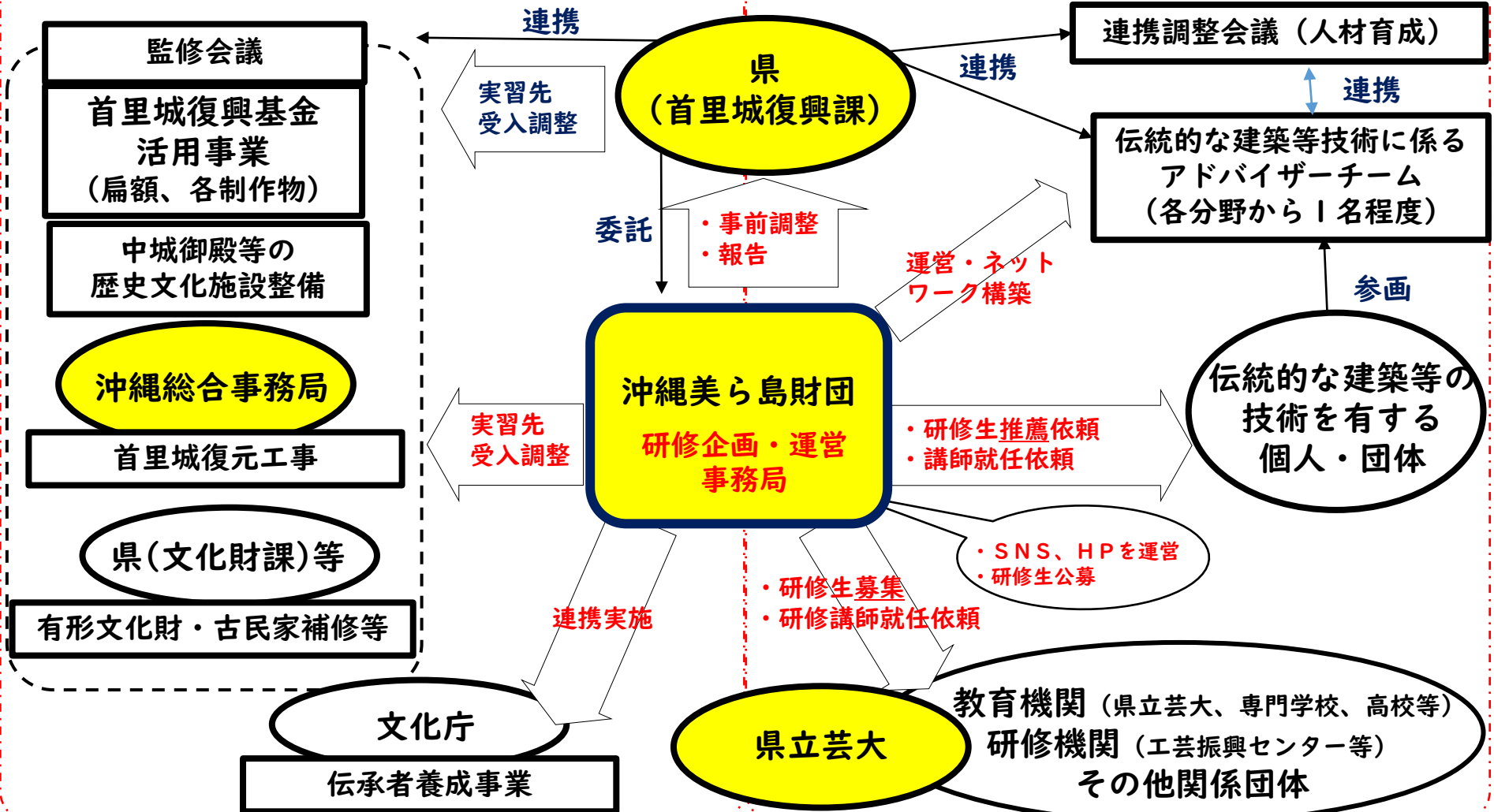
首里城未来基金を活用し、伝統的な建築等技術に係る人材育成に取り組む

目的1

復元事業等と連携した研修実施による現場
即応可能な人材の育成

目的2

各技術団体・個人のネットワーク構築による
将来自走可能な連携体制整備



首里城未来基金を活用した人材育成の取組

内閣府沖縄総合事務局、沖縄県、(一財)沖縄美ら島財団、県立芸術大学は、正殿や北殿・南殿等の焼失建物の復元、さらに復元後の保存修復等に必要となる伝統技術を継承すべく、復元、保存修復等の技術を有する人材の育成を進めるため、連携協定を締結した。

首里城復元における技術継承・人材育成に係る連携協定締結式
令和4年11月22日 @首里城公園情報展示室



沖縄美ら島財団
花城理事長

沖縄総合事務局
田中局長

沖縄県
玉城知事

県立芸術大学
波多野学長

今後の県の取組

- ・ 首里城未来基金を活用し、令和5年度から人材育成に係る研修事業を実施する。
- ・ 国の復元工事、及び県の首里城復興基金を活用した制作物監修とも現場実習等で連携を図る。
- ・ その他、各機関連携して人材育成に取り組む。

R5年度研修概要

内 容：座学^(※)、実習、首里城復元現場及び先進地視察 合計90～100時間程度

(※文化財概論、木彫刻技術、沖縄の建築と技術 等)

期 間：令和5年9月～令和6年3月

人 数：建造物木工分野 4名、木彫刻分野 3名

令和5年度研修状況

建造物木工実習

沖縄伝統建築の特徴である貫構造について、仕口加工の作図・加工・組立てを学ぶ実習



木彫刻実習

首里城正殿に施される木彫刻装飾（羽目板）をモチーフとし彫刻技術を学ぶ実習



復元現場視察

首里城正殿復元工事現場及び扁額作業場等、首里城正殿復元現場の視察



先進地視察

法隆寺、薬師寺等の社寺建築や木彫刻仏像修理作業場での先進事例視察（奈良県）



これまでの県・国の動向

県・国の動向 (2021年4月～2024年3月)

※関係主体欄の「美」は、(一財)沖縄美ら島財団

	年月日		
2021年	3月20日 ～4月18日	国 県 美	首里城赤瓦の漆喰はがしボランティア再開
	4月1日	国	第5回 首里城復元のための関係閣僚会議 幹事会
	4月23日	県	「首里城火災に係る再発防止策(基本的な方向性)」を公表
	5月20日	国	正殿復元工事に向けた新たな見学通路、 および仮設施設(原寸場、木材倉庫、素屋根)の整備を発表
	5月25日	国 県	首里城復元に向けた技術検討委員会 第1回 木材・瓦類ワーキンググループ会議 → 沖縄県から、県産木材(オキナワウラジロガシ)候補木の選定方法や環境対策等を報告
	6月1日	県	沖縄県とSCSK株式会社が「首里城復興におけるDX推進に関する連携協定」を締結
	6月2日	国 県	首里城復元に向けた技術検討委員会 第1回 北殿・南殿等ワーキンググループ会議
	6月7日	県	令和3年度 第1回 首里城復旧・復興推進本部会議(書面開催) → 首里城復興基本計画における基本施策の推進に向けた具体的な事業・取組として、 「首里城復興基本計画推進事業(70件)」を決定
	6月9日	国 県	首里城復元に向けた技術検討委員会 第1回 彩色・彫刻ワーキンググループ会議
	6月14日～ 7月16日	県	首里城火災破損瓦等の利活用アイデア募集(令和3年度1次募集)

県・国の動向（2021年4月～2024年3月）

	年月日		
2021年	6月24日	国 県	首里城復元に向けた技術検討委員会 第1回 防災ワーキンググループ会議
	6月30日	国 県	首里城復元に向けた技術検討委員会 第2回 木材・瓦類ワーキンググループ会議
	7月7日	国 県	首里城復元に向けた技術検討委員会 第2回 彩色・彫刻ワーキンググループ会議
	7月14日	国 県	令和3年度 第1回 中城御殿跡地整備検討委員会
	7月15日	県	令和3年度 第1回 首里城復旧・復興ワーキンググループ会議
	7月16日	国 県	令和3年度 第1回 首里杜地区整備検討委員会
	7月19日	県	令和3年度 第2回 首里城復旧・復興推進本部会議 → 首里城復興基金（寄附金）を活用し、県が石彫刻等の制作物、木材（小径材、造作材）、赤瓦（せん瓦、雲型飾瓦）などを調達・製作することについて、国に協議を申し入れる旨を決定
	7月20日	県	令和3年度 第32軍司令部壕保存・公開検討委員会 第3回会合
	7月26日	国 県	令和3年度 第1回 首里城公園管理体制構築検討委員会
	7月27日	国 県	令和3年度 第1回 首里城復元に向けた技術検討委員会
	7月30日	国 県	「首里城正殿復元工事に用いる制作物の譲渡に関する覚書」を締結 → 7/19に申し入れた協議について合意

県・国の動向（2021年4月～2024年3月）

	年月日		
2021年	8月13日	国 県	令和3年度 第1回 首里城扁額製作検討委員会
	8月13日	国	首里城御庭の磚（せん）瓦の撤去作業を公開
	9月15日	国 県	首里城復元に向けた技術検討委員会 第2回 防災ワーキンググループ会議
	9月22日	県	第32軍司令部壕のドローン測量調査を公開
	9月29日	国	首里城御庭の北殿北側見学デッキの整備状況を公開
	9月30日	国 県	首里城復元に向けた技術検討委員会 第3回 彩色・彫刻ワーキンググループ会議
	10月3日	県	首里城再興学術ネットワークシンポジウム2020開催（県立芸術大学・琉球大学との共催）
	10月5日	国 県	首里城復元に向けた技術検討委員会 第3回 木材・瓦類ワーキンググループ会議
	10月8日	県	首里杜館の大型ディスプレイ、映像コンテンツ公開
	10月14日	県	令和3年度 第2回 首里城復旧・復興ワーキンググループ会議
	10月21日	国 県	首里城復元に向けた技術検討委員会 第2回 北殿・南殿等ワーキンググループ会議

県・国の動向（2021年4月～2024年3月）

	年月日		
2021年	10月27日	国	首里城御庭の北殿北側見学デッキを一部供用開始
	10月28日	国 県	首里城復元に向けた技術検討委員会 第3回 防災ワーキンググループ会議
	10月30日～ 11月3日	国 県 美	令和3年度 首里城復興祭（主催：首里城祭実行委員会）
	10月30日	県	令和3年度 首里城復興イベント（10月30日・31日・11月3日）
	11月1日	県	琉球歴史文化の日 制定記念式典 → 沖縄の歴史・文化への理解を深め、次世代に継承し、新たな歴史と文化の創出に向けて令和3年度より制定。
	11月2日	県	令和3年度 第2回「琉球文化ルネサンス」に関する万国津梁会議
	11月3日	国 県	玉城知事が首里城の現場を視察
	11月6日～ 11月14日	国 県 美	首里城赤瓦の漆喰はがしボランティア募集（最終）
	11月9日	国 県	首里城復元に向けた技術検討委員会 第4回 彩色・彫刻ワーキンググループ会議
	11月10日	国 県	令和3年度 第2回 首里城公園管理体制構築検討委員会
	11月16日	国 県 美	首里城復興DX共創ラボのオープン（連携協定：SCSK株式会社）
	11月22日～ 1月7日	県	首里城火災破損瓦等の利活用アイデア募集（令和3年度2次募集） → 今回から瓦の種類を追加し、石材も利活用募集を開始

県・国の動向 (2021年4月～2024年3月)

	年月日		
2021年	12月1日	国 県	令和3年度 第2回 首里城復元に向けた技術検討委員会
	12月21日	国 県	令和3年度 第2回 首里城扁額製作検討委員会
	12月24日	国 県	令和3年度 第2回 中城御殿跡地整備検討委員会
	12月27日	県	令和3年度 第32軍司令部壕保存・公開検討委員会 第4回会合
2022年	1月13日	国 県	首里城復元に向けた技術検討委員会 第4回 防災ワーキンググループ会議
	1月19日	県	令和3年度 第3回 首里城復旧・復興ワーキンググループ会議
	1月24日	県	令和3年度 第3回「琉球文化ルネサンス」に関する万国津梁会議
	1月28日	国 県	首里城復元に向けた技術検討委員会 第4回 木材・瓦類ワーキンググループ会議
	1月30日	国	首里城復元に向けた技術検討委員会 報告会
	1月31日	県	令和3年度 第3回 首里城復旧・復興推進本部会議 → ①首里城火災復旧・復興支援寄附金の受入終了(R4.3.31)、②首里城復興への新たな基金の創設、③正殿への県産木材の使用変更について決定。
	1月31日	国 県	令和3年度 第3回 首里城公園管理体制構築検討委員会

県・国の動向 (2021年4月～2024年3月)

	年月日		
2022年	2月2日	県 美	第1回 令和首里城復興イベント実行委員会
	2月3日	国 県	令和3年度 第2回 首里杜地区整備検討委員会
	2月3日～ 3月1日	県	「首里城公園管理体制構築計画(案)」に対する県民意見等を募集
	2月17日	国 県	首里城復元に向けた技術検討委員会 第5回 防災ワーキンググループ会議
	2月24日	国 県	首里城復元に向けた技術検討委員会 第5回 彩色・彫刻ワーキンググループ会議
	2月28日	県 美	国頭村立安波小学校でのオキナワウラジロガシ苗木づくり
	3月1日	国 美	正殿塗装の顔料である「久志間切弁柄」の塗装実験を公開
	3月2日	国 県	首里城復元に向けた技術検討委員会 第3回 北殿・南殿等ワーキンググループ会議
	3月4日	県	令和3年度 首里城復興イベント(3月4日～6日・12日・13日)
	3月8日	国 県	令和3年度 第3回 首里城扁額製作検討委員会

県・国の動向 (2021年4月～2024年3月)

	年月日		
2022年	3月10日	国 県	令和3年度 第3回 首里杜地区整備検討委員会
	3月16日	国 県	令和3年度 第3回 中城御殿跡地整備検討委員会
	3月17日	国 県	令和3年度 第3回 首里城公園管理体制構築検討委員会
	3月23日	県	沖縄県議会で「沖縄県首里城歴史文化継承基金条例」が全会一致可決 → 首里城未来基金への寄附金の受入開始(令和4年4月1日～)が正式決定
	3月24日	国 県	令和3年度 第3回 首里城復元に向けた技術検討委員会
	3月28日	県	令和3年度 第32軍司令部壕保存・公開検討委員会 第5回会合
	3月	県	「中城御殿整備基本計画」を改定

県・国の動向（2021年4月～2024年3月）

	年月日		
2022年	4月	県	「首里杜地区整備基本計画」を策定
	4月	県	「首里城公園管理体制構築計画」を策定
	4月1日	県	首里城未来基金（沖縄県首里城歴史文化継承基金）への寄附金受付を開始
	6月7日	国 県	令和4年度 首里城復元に向けた技術検討委員会 第1回彩色・彫刻ワーキンググループ会議
	6月22日	国 県	首里城復元に向けた技術検討委員会 第1回 防災ワーキンググループ会議
	7月6日	国 県	令和4年度 首里城復元に向けた技術検討委員会 第1回木材・瓦類ワーキンググループ会議
	7月21日	国 県	令和4年度 首里城復元に向けた技術検討委員会 第1回北殿・南殿等ワーキンググループ会議
	8月1日	国 県	令和4年度 第1回 首里城公園管理体制構築検討委員会
	8月3日	国 県 美	首里城復興ボランティア：赤瓦シャモットづくり（8月3日～11月30日）
	8月9日	国 県	令和4年度 首里城復元に向けた技術検討委員会 第2回 防災ワーキンググループ会議

県・国の動向 (2021年4月～2024年3月)

	年月日		
2022年	8月25日	国 県	令和4年度 首里城復元に向けた技術検討委員会 第2回彩色・彫刻ワーキンググループ会議
	9月14日	国 県	令和4年度 第1回 中城御殿跡地整備検討委員会
	9月21日	県 那 地	令和4年度 第1回 首里杜まちづくり推進協議会
	9月28日	国 県	令和4年度 第1回 首里城復元に向けた技術検討委員会
	10月3日	国 県	令和4年度 第1回 首里城扁額製作検討委員会
	10月25日	国 県	令和4年度 首里城復元に向けた技術検討委員会 第2回北殿・南殿等ワーキンググループ会議
	10月29日	県 国頭	令和首里城復興イベント木曳式「国頭フェスティバル」「木曳パレード」開催
	10月30日	県 那	令和首里城復興イベント木曳式「那覇フェスティバル」開催
	11月3日	県 美 地	令和首里城復興イベント木曳式「首里城木遣行列」「木遣イベント」「首里城復興祭」開催
	11月3日	国	首里城正殿復元整備工事 起工式開催

県・国の動向（2021年4月～2024年3月）

	年月日		
2022年	11月9日	国 県	令和4年度 首里城復元に向けた技術検討委員会 第3回彩色・彫刻ワーキンググループ会議
	11月13日	県 学	首里城再興学術ネットワークシンポジウム2022開催（琉球大学、県立芸術大学と三者共催）
	11月22日	国 県 美	首里城復元における技術継承・人材育成に係る連携協定の締結
	11月25日	県	首里城図柄入り自動車ナンバープレートのデザイン決定
	11月29日	国 県	令和4年度 首里城復元に向けた技術検討委員会 第2回木材・瓦類ワーキンググループ会議
	12月6日	国 県	令和4年度 第1回 首里城復興基金事業 監修会議
	12月16日	国 県	令和4年度 首里城復元に向けた技術検討委員会 第3回 防災ワーキンググループ会議
2023年	1月13日	国 県 美	首里城復興ボランティア：うるし塗り原料「ニービの粉」製作（1月13日～5月14日）
	1月24日	国 県	令和4年度 首里城復元に向けた技術検討委員会 第4回彩色・彫刻ワーキンググループ会議
	2月8日	国 県	令和4年度 第2回 首里城公園管理体制構築検討委員会

県・国の動向（2021年4月～2024年3月）

	年月日		
2023年	2月18日	県	令和4年度 首里城復興イベント(2/18・2/19・2/25・2/26・3/4・3/5)
	2月22日	国 県	令和4年度 首里城復元に向けた技術検討委員会 第3回北殿・南殿等ワーキンググループ会議
	3月2日	国 県	令和4年度 第2回 首里城扁額製作検討委員会
	3月7日	国 県	令和4年度 第2回 首里城復興基金事業 監修会議
	3月9日	国 県	令和4年度 第2回 首里城復元に向けた技術検討委員会
	3月15日	国 県	令和4年度 第3回 首里城公園管理体制構築検討委員会
	3月16日	国 県 美	首里城復元における技術継承・人材育成 第1回連携調整会議
	3月17日	国 県	令和4年度 第2回 中城御殿跡地整備検討委員会
	3月23日	国 県	首里城復元に向けた技術検討委員会 第2回報告会
	3月24日	県 那 地	令和4年度 第2回 首里杜まちづくり推進協議会

県・国の動向 (2021年4月～2024年3月)

	年月日		
2023年	5月18日	国 県	令和5年度 首里城復元に向けた技術検討委員会 第1回彩色・彫刻／木材・瓦類合同ワーキンググループ会議
	6月12日	国 県	令和5年度 第1回 中城御殿跡地整備検討委員会
	6月16日	国 県	令和5年度 首里城復元に向けた技術検討委員会 第1回 防災ワーキンググループ会議
	7月13日	国 県	令和5年度 首里城復元に向けた技術検討委員会 第1回北殿・南殿ワーキンググループ会議
	7月20日	国 県	令和5年度 第3回 首里城復興基金事業 監修会議
	7月21日	国 県 美	首里城復興ボランティア:うるし塗り原料「ニービの粉」製作(7月21日～9月8日)
	8月8日	国 県	令和5年度 首里城復元に向けた技術検討委員会 第2回彩色・彫刻／木材・瓦類合同ワーキンググループ会議
	8月31日	県 那 地	令和5年度 第1回 首里杜まちづくり推進協議会
	9月5日	国 県	令和5年度 第1回 首里城復元に向けた技術検討委員会
	9月9日	国	特別公開(立柱記念イベント)9/9～9/10
	10月10日	国 県	令和5年度 首里城復元に向けた技術検討委員会 第2回北殿・南殿ワーキンググループ会議

県・国の動向 (2021年4月～2024年3月)

	年月日		
2023年	10月11日	国 県	令和5年度 第1回 首里城公園管理体制構築検討委員会
	10月23日	県	首里城図柄入り自動車ナンバープレート発行記念イベント
	10月27日	県	首里城破損瓦ものづくりイベント(10/27～10/29)
	10月29日	県 学	首里城再興学術ネットワークシンポジウム2023開催 (琉球大学、県立芸術大学と三者共催)
	11月3日	美	首里城復興祭(11/3～11/5)
	11月15日	国 県	令和5年度 首里城復元に向けた技術検討委員会 第2回 防災ワーキンググループ会議
	12月9日	県	令和5年度 首里城復興イベント(12/9～2/10)
	12月15日	国 県	令和5年度 首里城復元に向けた技術検討委員会 第3回彩色・彫刻/木材・瓦類合同ワーキンググループ会議
	12月20日	国 県	令和5年度 第2回 中城御殿跡地整備検討委員会
	12月21日	国 県	令和5年度 第1回 首里城扁額製作検討委員会

県・国の動向 (2021年4月～2024年3月)

	年月日		
2024年	1月18日	国 県	令和5年度 第2回 首里城公園管理体制構築検討委員会
	1月23日	国 県	令和5年度 首里城復元に向けた技術検討委員会 第3回北殿・南殿等ワーキンググループ会議
	2月17日	県	令和5年度 首里城復興イベント(2/17～2/18)
	2月21日	国 県	令和5年度 首里城復元に向けた技術検討委員会 第3回 防災ワーキンググループ会議
	2月23日	国 県 美	端材弁柄塗り体験イベント(2/23～3/3)
	2月29日	国 県	令和5年度 第3回 首里城公園管理体制構築検討委員会
	3月7日	国 県	令和5年度 第4回 首里城復興基金事業 監修会議
	3月15日	国 県 美	首里城復元における技術継承・人材育成 第1回連携調整会議
	3月21日	国 県	令和5年度 第2回 首里城扁額製作検討委員会
	3月22日	国 県	令和5年度 第2回 首里城復元に向けた技術検討委員会
	3月26日	県 那 地	令和5年度 第2回 首里杜まちづくり推進協議会

東のアザナより正殿方向を見る



R6.4撮影